

# 【プロポザール参考資料】

## やんばる観光地域づくり戦略策定事業 基礎調査業務

### 資料編

北部広域市町村圏事務組合



# 目次

<b>第1章 やんばる観光地域づくりにあたって</b> .....	1
1. DMO検討の必要性と本調査の目的.....	1
(1)やんばるにおける観光連携体制の検討経緯.....	1
<b>第2章 行政・観光協会等の実態と市場分析</b> .....	10
1. 市町村・観光協会等の実施内容.....	10
(1)各種観光計画及び実態調査整理.....	10
(2)各市町村観光計画施策・評価・目標.....	15
2. 行政・観光協会/観光関連事業者向けヒアリング調査.....	51
(1)ヒアリング調査概要.....	51
(2)RESASによる北部地域の実態調査.....	67
(3)観光関連データの取得・分析.....	78
3. 観光意識アンケート調査.....	84
(1)調査概要.....	84
(2)アンケート調査票及び結果.....	85
4. 行政・観光協会・観光関連事業者向けセミナーの開催.....	127
(1)セミナー実施概要.....	127
(2)セミナーアンケート結果.....	136
<b>第3章 地域連携DMOIに関する調査</b> .....	144
1. 先進事例調査.....	144
(1)国内DMO事例調査.....	144
(2)国外DMO事例調査.....	171
(3)先進地視察調査.....	176



# 第1章 やんばる観光地域づくりにあたって

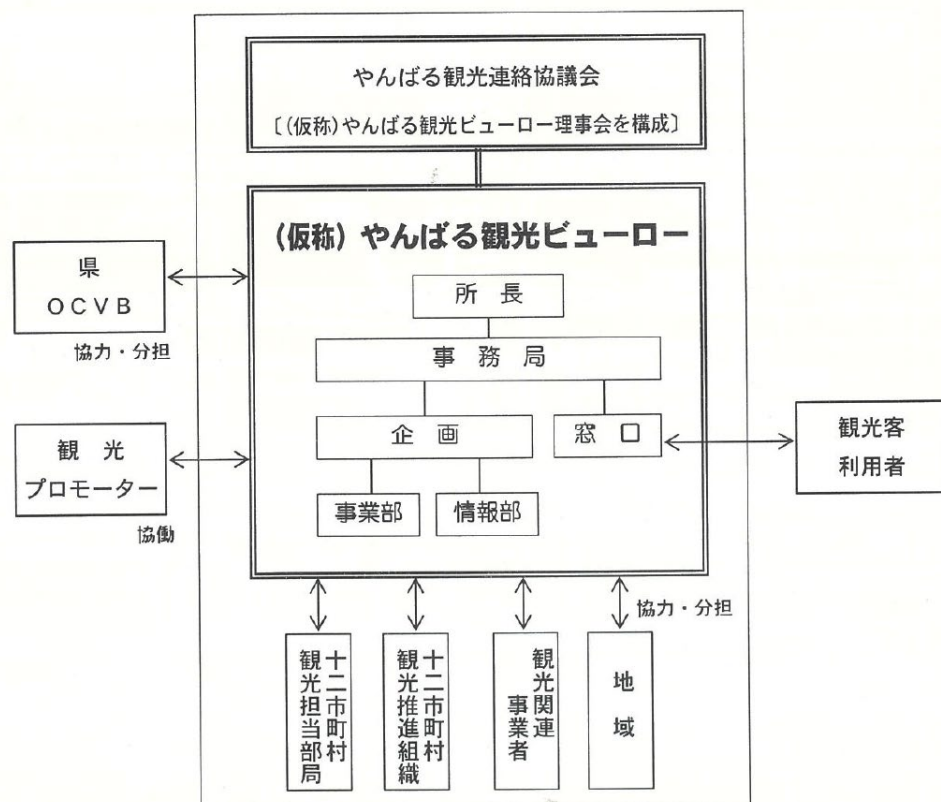
## 1. DMO検討の必要性と本調査の目的

### (1) やんばるにおける観光連携体制の検討経緯

#### ①北部地域における体験・滞在型観光計画策定調査(H15)

- ・平成12年度(2000年度)から始まった北部振興事業で、観光拠点施設の整備が進められる中、当調査は、「体験・滞在型観光計画策定調査」として進められたものである。
- ・当時、観光スタイルが団体旅行から、小グループの参加・体験型へとニーズが多様化する過渡期にあつて、様々な取り組みが個々で進められており、北部観光の連携が不十分であること等を背景に、北部全体で受け入れ体制の整備を図るための計画策定を目的としていた。
- ・計画の推進機関として、やんばる観光連絡協議会、(仮称)やんばる観光ビューローの設置を示しており、やんばる観光連絡協議会を設立したものの、事務局を市町村で持ち回りにしたために自然消滅した経緯がある。

図:1-1 やんばる観光推進機関のイメージ(案)

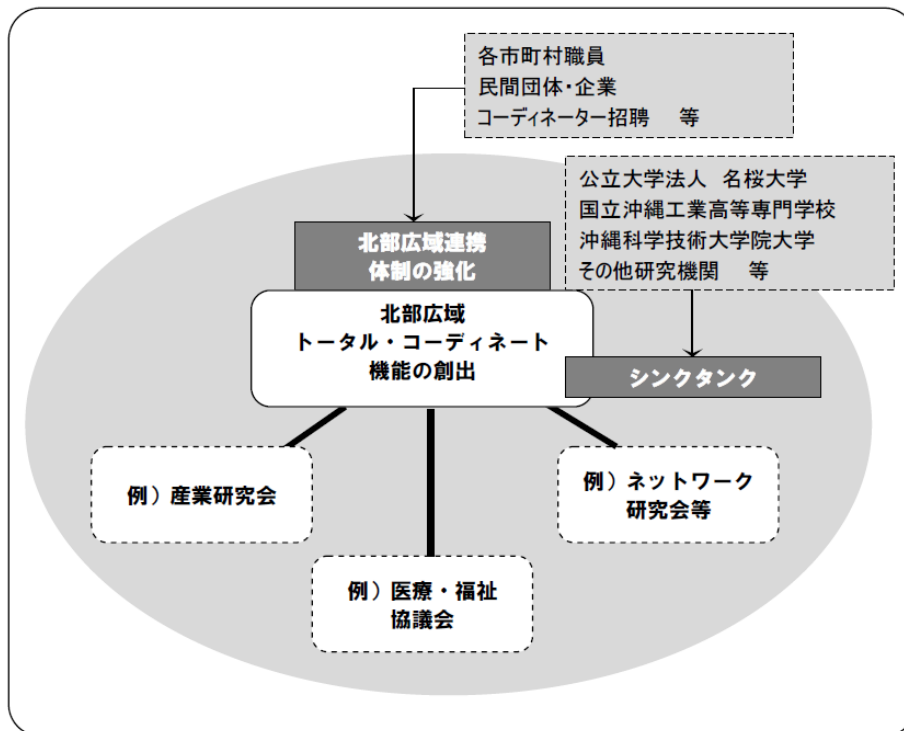


出典:北部地域における体験・滞在型観光計画策定調査(H15年度,2003年度)

## ②北部振興戦略（H22）

- 当戦略は、北部振興事業の振興戦略の策定を目的としたもので、「つながり いろどり輝く やんばるの躍進」を基本理念に、振興戦略の目標として「地域の連携による総合力の発揮」が示され、これを基に北部振興事業では「連携」促進することとなった。
- 観光産業は、重点分野の一つとして、連携を進めるためのトータル・コーディネート機能の必要性をあげている。
- トータル・コーディネート機関は、北部広域市町村圏事務組合の組織強化を図り、各市町村から出向は必須で、民間団体、企業等からの派遣をはじめ、当面は専門コーディネーター等を招聘する等、戦略を強力に推し進める体制を強化することとした。また、『知』の集積地になりつつある北部地域の『知』を最大限に活用するためにも、シンクタンクのような機関の設置も十分検討に値するとした。

図:1-2 北部振興戦略の推進体制

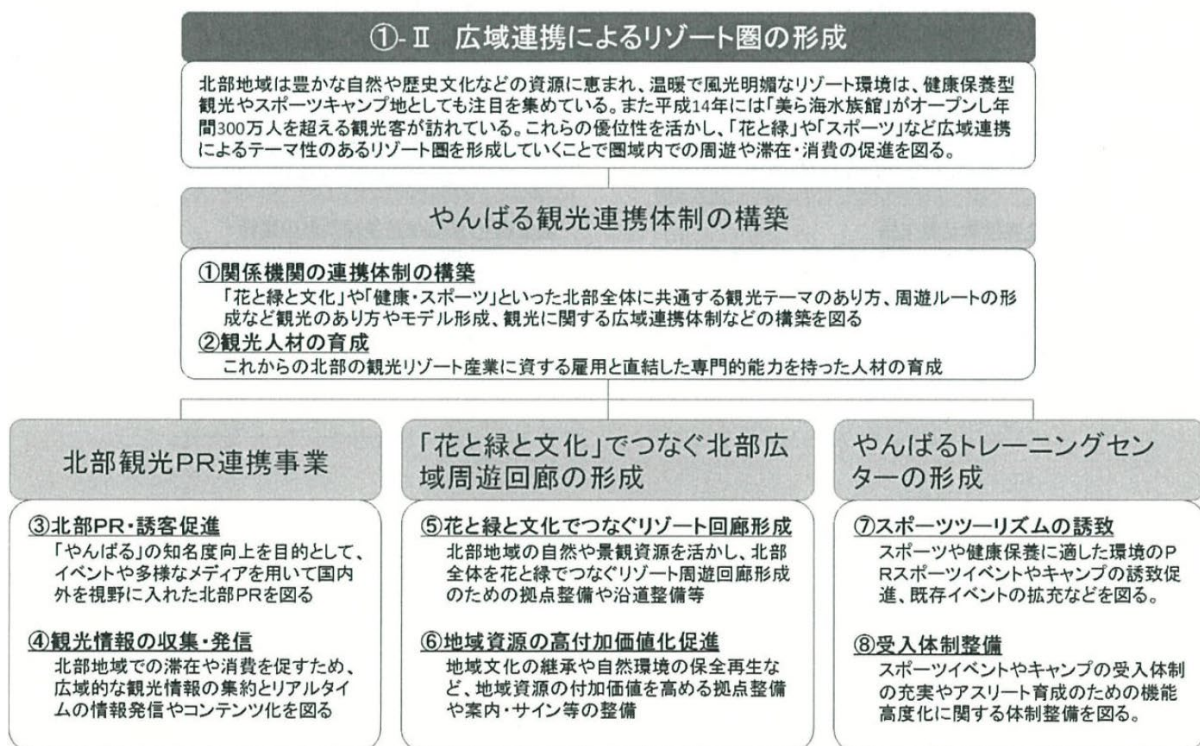


出典:北部地域振興戦略策定業務(H22年度,2010年度)

### ③北部地域連携推進計画（H23）

- ・ 当計画は、北部振興事業は「連携」した取り組みで進めるとし、エリア別で開催されたワークショップにおいて観光は地域の強みとして多くの意見があがった。
- ・ 「広域連携によるリゾート圏の形成」を事業テーマの一つとし、関係機関の連携体制の必要性、将来的にやんばる版コンベンションビューロー機能を目指すとした。
- ・ 連携推進体制として、平成 22 年度(2010 年度)に策定した「北部地域振興戦略」に続き、トータル・コーディネーター機能の必要性を示した。

図:1-3 広域連携によるリゾート圏の形成



出典:北部地域連携推進計画(H23年度,2011年度)

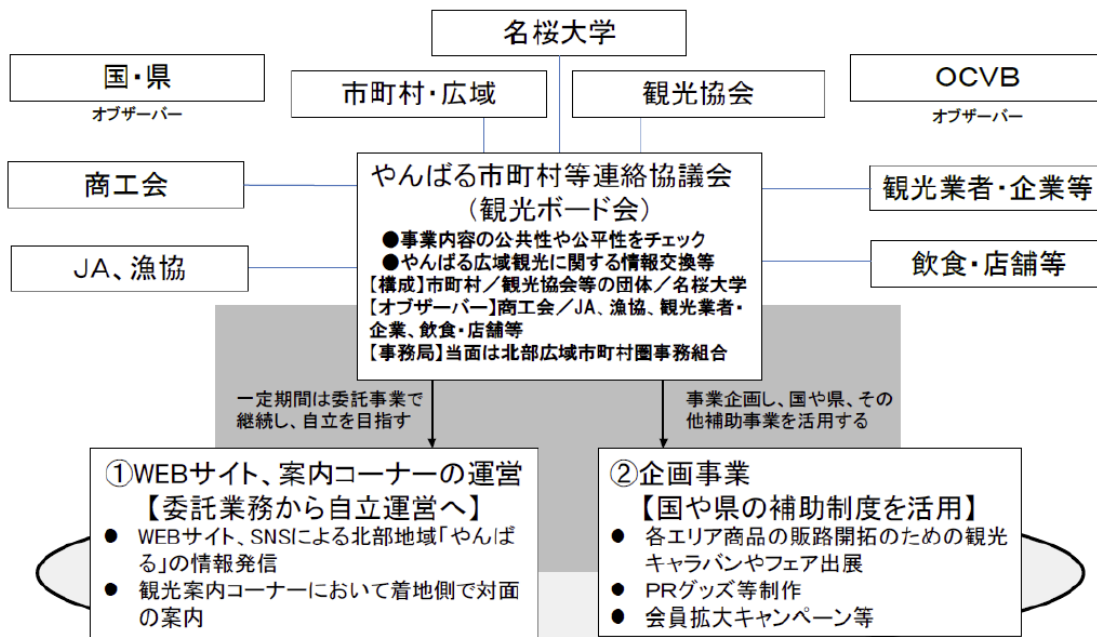
#### ④やんばる観光連携推進事業（H24～H28）

- ・ 当事業は、北部地域連携推進計画を受け、やんばる観光の広域連携を進めるため実施された事業である。当事業では、連携による周遊、滞在、消費の促進を目標として、①連携の仕組みづくり、②情報集約・発信、③観光プロモーション、④ニーズ調査を行った。
- ・ 連携の仕組みづくりでは、エリア別の連携プロジェクト等を実施し、「やんばる観光市町村等連絡協議会」を設置し、現在に至っている。また、情報・集約発信においては「沖縄北部観光情報コミュニケーションサイト」が運営を継続している。

図：1-4 やんばる観光市町村等連絡協議会の業務内容イメージ

【組織の機能】	【内容】	【財源(案)】
情報集約・発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>●WEBサイト・SNSの管理・運営</li> <li>●観光案内コーナーの管理・運営</li> </ul>	一定期間北部広域からの委託業務として継続し自立を目指す
プロモーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各エリアの着地型商品の売込み</li> <li>●WEB会員募集キャンペーンなどの実施</li> <li>●PRグッズ等制作</li> </ul>	国、県等の補助制度活用
マーケティング調査	●WEBサイト、観光案内コーナーを活用した情報収集	WEBサイトの活用 国、県等の補助制度活用
広域連携による観光まちづくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広域観光の施策に関する企画及び実行</li> <li>●国や県、OCVBとの連携・調整、要請</li> <li>●広域観光に関する制度研究(DMO等)</li> </ul>	国、県等の補助制度活用

やんばる市町村等連絡協議会の形態イメージ



出典：やんばる観光連携推進事業（H28年度、2016年度）



## ⑤沖縄北部観光推進整備検討事業（R1）

- ・ 当事業は、インバウンド向けの受け入れ態勢の課題を洗い出すとともに、今後の改善策を打ち出し、やんばる地域へのインバウンド受け入れを円滑に進めるための調査を実施した。
- ・ 当時は、北部振興事業において観光関連の施設が各地に整備が進んでいた時期で、整備後の集客性を高めるために広域連携によるPRやマネジメントの体制づくりを必要としている時期であった。
- ・ 調査では、北部地域の12市町村から、外国人向けに積極的にPRしたい施設を、地域の窓口となり地域の情報や案内が期待される施設「重点施設」(14か所)と、観光目的地となり集客を高めたい施設「一般施設」(30か所)、計44カ所を抽出し、外国人によるモニターツアーより、各所の魅力や改善点を抽出した。
- ・ 今後の改善策とともに、連携した推進体制整備の必要性を挙げた。

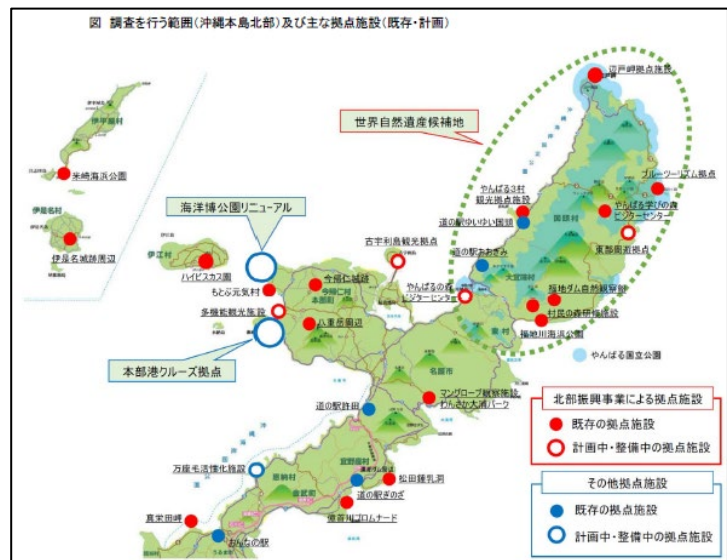


表:1-1 調査対象施設(重要施設、一般施設)

### 対象施設

重要施設: 地域の窓口となり、地域の情報や案内が期待される施設(14箇所)

一般施設: 観光目的地として集客性を高めたい施設やスポット(30箇所)

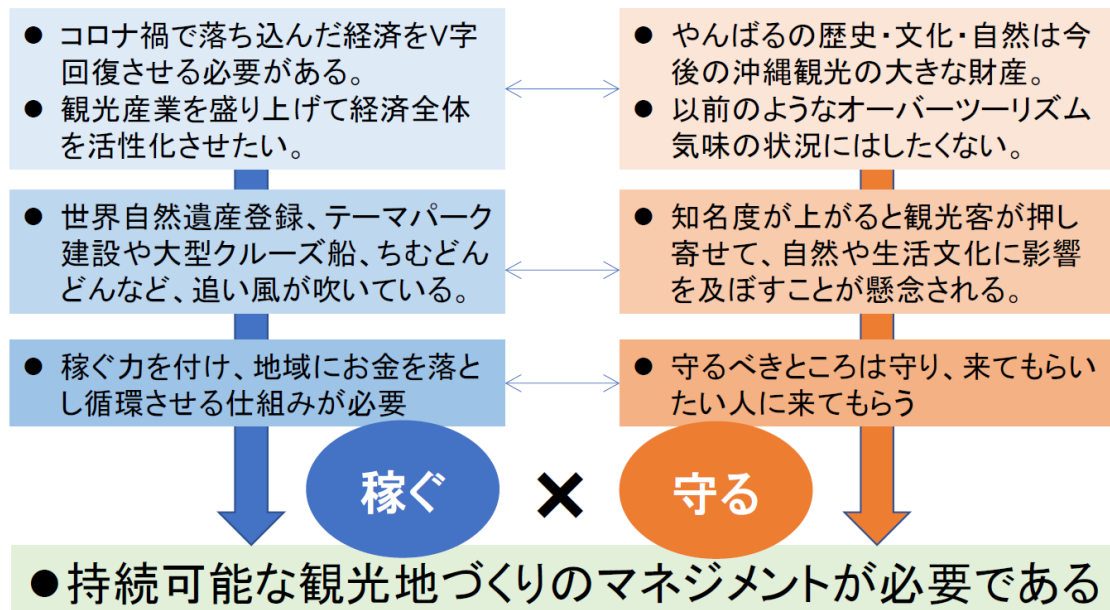
役割	地域の窓口となり、地域の情報や案内が期待される施設							
	名護市	①名護市営市場	②道の駅許田					
国頭村	③やんばる3村観光拠点施設							
大宜味村	④道の駅おおぎみやんばるの森ビジターセンター							
東村								
今帰仁村	⑤古宇利ふれあい広場	⑥橋の駅リカワルミ	⑦今帰仁城跡	⑧運天港				
本部町	⑨本部港							
金武町								
宜野座村	⑩道の駅ぎのぞ							
恩納村	⑪万座毛							
伊江村	⑫伊江港							
伊平屋村	⑬前泊港・ぎよきょう売店							
伊是名村	⑭仲田港							
役割	観光目的地として集客性を高めたい施設やスポット							
名護市	⑮ネオパークオキナワ	⑯なごアグリパーク						
国頭村	⑰やんばる学びの森	⑱比地大滝	⑲やんばる森のおもちゃ美術館					
大宜味村	⑳大宜味村農村活性化センター(旧道の駅おおぎみ)							
東村	㉑福地川海浜公園	㉒東村村民の森つじエコパーク	㉓東村ふれあいヒルギ公園					
今帰仁村								
本部町	㉔備瀬のフクギ並木	㉕もとぶ元気村	㉖八重岳桜の森公園					
金武町	㉗ギンバル海浜公園	㉘新開地	㉙ネイチャーみらい館					
宜野座村	㉚かりゆしカンナタラソラグーナ	㉛松田集落散策						
恩納村	㉜真栄田岬	㉝恩納海浜公園ナビビーチ						
伊江村	㉞ハイビスカス園	㉟伊江ビーチ	㊱ニヤティヤ洞	㊲伊江島蒸溜所	㊳城山	㊴湧出		
伊平屋村	㊵米崎ビーチ	㊶クマヤ洞窟						
伊是名村	㊷伊是名玉御殿	㊸銘苺家	㊹伊是名村体験交流観光連携施設					

出典：沖縄北部観光推進整備検討事業（R1年度, 2019年度）

## ⑥やんばるの自然・歴史・文化周遊促進事業（R1～R3）

- ・ 当事業は、やんばるの自然・歴史・文化を活かした観光地の高付加価値化や北部地域全体に観光客の周遊や消費を促し、持続可能な観光地の形成を目的とした調査を実施した。
- ・ 業務の項目として、「観光協会連合設立・DMO 化検討」があり、令和 3 年度業務では、「なぜ必要か」、「何を指すのか」、「何をするのか」、「誰がやるのか」を整理した。

図:1-5 北部地域における観光地づくりマネジメントの必要性(なぜ必要か)



そのためには誰かが・・・

- ・ やんばるは、「こういう地域」ですという価値を発信し続けていくことが必要
- ・ データを収集し、ターゲットを見極め、広域分散など観光地のマネジメントが必要

図:1-6 やんばる全体の観光地づくりの考え方(何を指すのか)

## やんばるの豊かな自然と多様性を活かした環境共生型観光地モデルの実現

- 世界的全体で取り組みが広がるSDGsやwithコロナなどあたらしい取り組みが求められている。
- 沖縄・やんばるでは、世界自然遺産登録やテーマパーク開園など新たな扉が開かれようとしている。
- こうした新たな動きをチャンスとしつつ、**保全と活用が両立した観光地づくり**に向け、やんばるが一丸となって観光を新たなステージへと昇華させ、ブランド力を高めたい。

SDGs観光のモデルへ！



出典: やんばるの自然・歴史・文化周遊促進事業(R1～R3 年度, 2019～2021 年度)

図:1-7 DMO機能の役割(何をするのか)

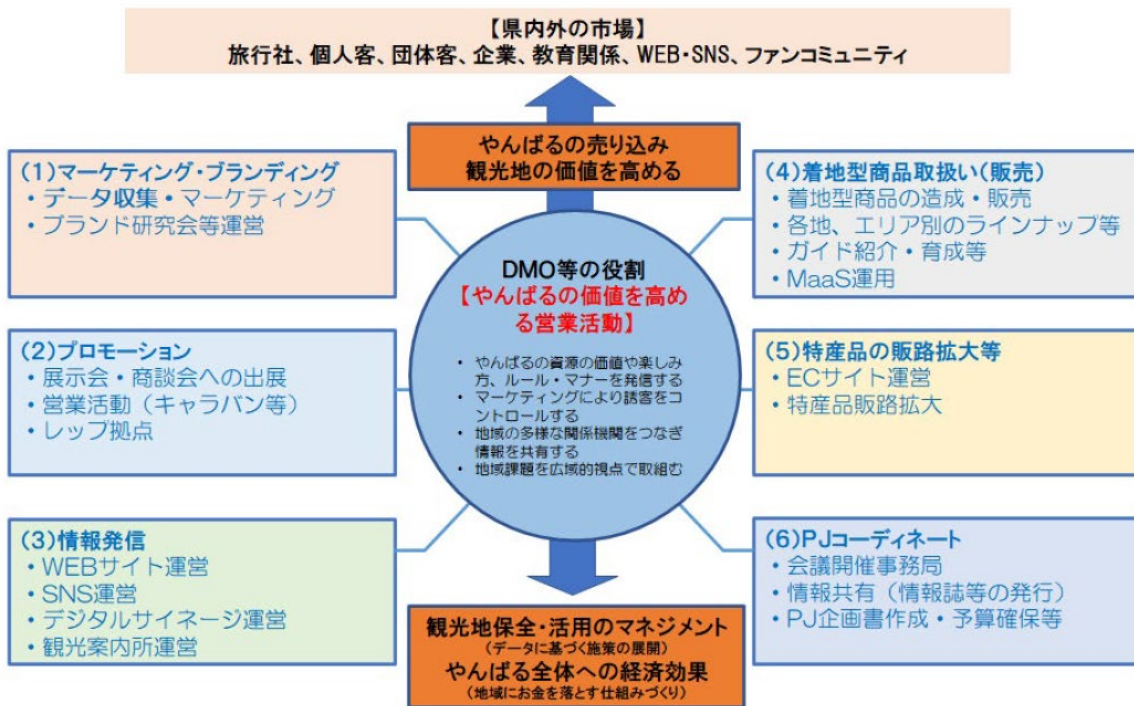


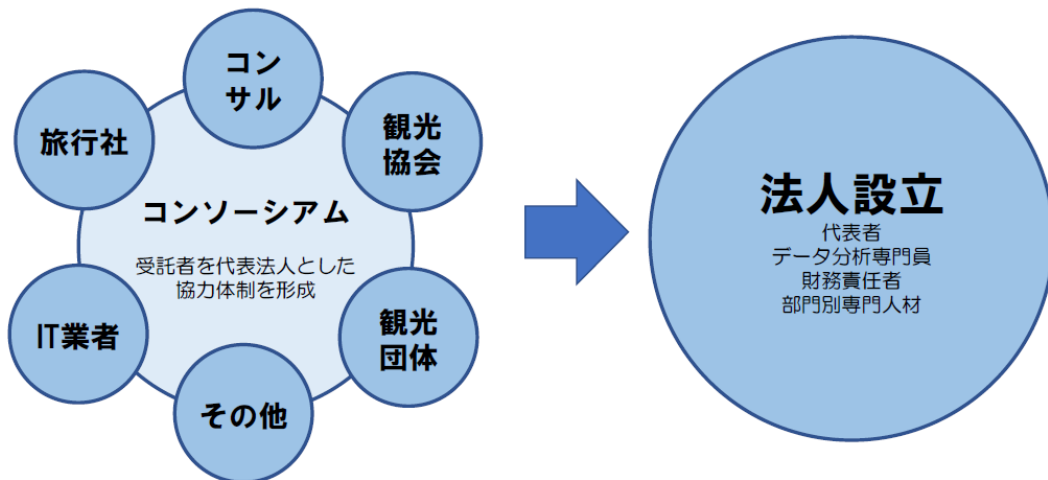
図:1-8 DMO等準備会における事務局協力体制のイメージ(誰がやるのか)

- 【DMO等準備会の段階】**

  - 賛同する団体でコンソーシアム等を設立し、協定を締結し活動する。
  - それぞれの団体で活動しつつ、特定の目的の事業で共同する。

**【DMO登録段階】**

  - コンソーシアムでの実績を基に、法人を設立。
  - 専属の人材を雇用し、特定の事業所を設置する。



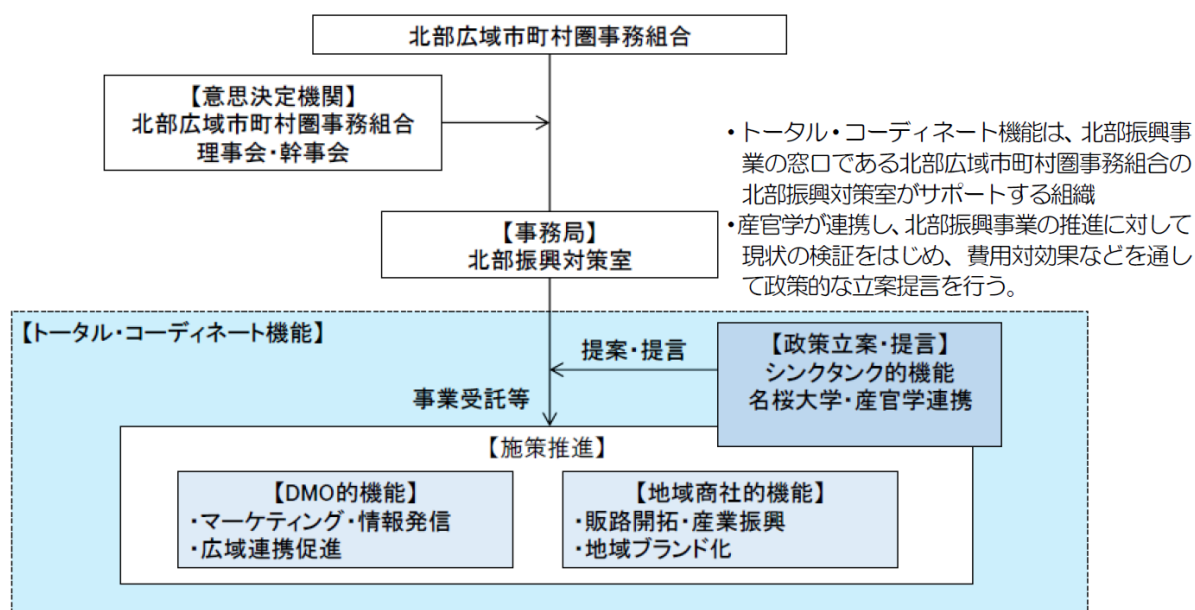
コンソーシアム: 共同体、(企業)連合、合併企業、共同事業体、組合、協会、協議会などの意味を持つ英単語。複数の個人や組織が共通の目的のために活動する集団を指す。

出典: やんばるの自然・歴史・文化周遊促進事業(R1~R3, 2019~2021年度)

## ⑦北部地域振興戦略（R3）

- 北部振興事業では、「やんばるは一つ」の考え方のもと、振興戦略を推進するためのトータル・コーディネート機能の創出を必要としてきた。
- 今後も、SDGs、Society5.0の実現に向けAIやIoT等急速に進む先端技術を駆使した技術革新、すなわちDX（デジタルトランスフォーメーション）等への適応が必要で、さらに、withコロナ、アフターコロナの新たな生活様式、経済のV字回復に向けて専門家や関係機関が連携した横断的な取り組みで、多様な人々の想像力、創造力を融合し、課題解決を図っていく必要があるとして、北部振興戦略では、トータル・コーディネート機能となる総合的な推進体制の必要性を改めて示した。
- 政府が進める地方創生においては、観光地域経営を担うDMOと地域商社が両輪となって、地域の商品・サービスを一元的に域内・域外の市場へと拡大させ、地域全体の平均所得向上と若年層の流出抑制を実現するとして、地域のブランド化や稼げる地域づくりのために、DMOや地域商社のようなコーディネート機能の必要性をあげている。

図:1-9トータル・コーディネート機能の位置づけとイメージ案

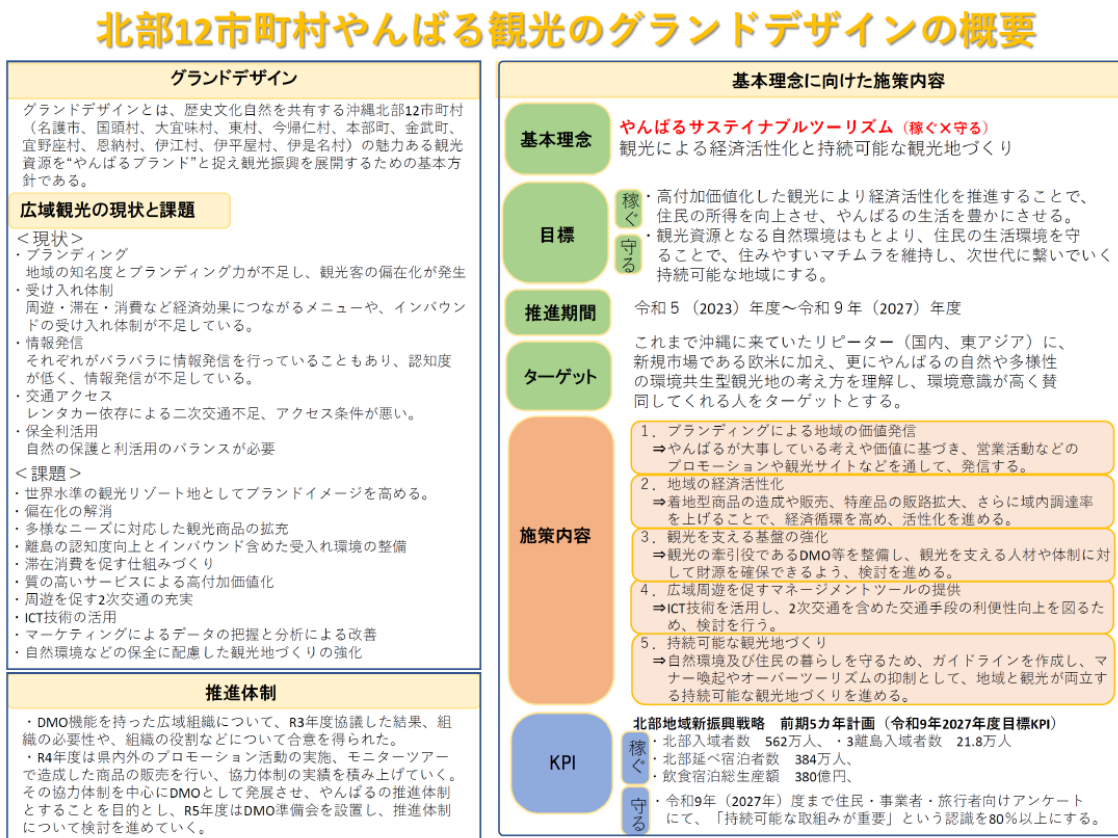


出典:北部地域振興戦略(R3, 2021年)

## ⑧やんばる独自の生活・文化等観光資源を活用した体験型周遊観光促進事業（R4）

- 北部地域では、全体的な観光戦略が示されていないことから、各地域が独自の取り組みを行っており、「やんばる」という一体的な地域であることの認知度が期待と異なり、広域的な周遊や消費等十分な成果があげられていないのが現状である。
- 当事業では、北部 12 市町村を一体とした観光振興を推進するため、やんばる観光市町村等連絡協議会による協議のもと、「観光戦略」の策定を行った。
- 戦略では、「北部 12 市町村やんばる観光のグランドデザイン」として、基本理念を「やんばるサステナブルツーリズム(稼ぐ×守る)」として、稼ぐための目標、守るための目標を定め、北部地域の全体的な観光ルールやマナーをふまえた、「やんばる版持続可能観光ガイドライン」も併せて策定した。

図:1-10 北部12市町村やんばる観光のグランドデザインの概要



出典:やんばる独自の生活・文化等観光資源を活用した体験型周遊観光促進事業(R4 年度, 2022 年度)

## 第2章 行政・観光協会等の実態調査・市場分析

### 1. 市町村・観光協会等の実施内容・整理

- 各市町村の入域者数や予算関連書類、観光協会の総会資料により、市町村と観光協会の役割等について整理した。

#### (1) 各種観光計画及び実態調査整理

##### ①各市町村の入域者数

- 各市町村の入域者数については、各市町村で集計し、まとめている。

表:2-1 各市町村入域者数(令和4年度, 2022 年度)

市町村	入域者数(人)	集計方法
名護市	2,737,094	施設来場者、宿泊者、イベント参加者の累計
国頭村	865,211	施設来場者、宿泊者、イベント参加者の累計
大宜味村	223,155	施設来場者、宿泊者の累計
東村	223,220	施設来場者、宿泊者、イベント参加者の累計(R3 年度)
本部町	2,746,957	海洋博公園入域者数 ※他にもホテル、宿泊施設、屋食利用、水納島利用者数等の項目あり。累計人数は無い
今帰仁村	590,216	施設来場者、宿泊者、イベント参加者の累計(R3 年度)
金武町	373,179	施設来場者、宿泊者、イベント参加者の累計
宜野座村	1,230,991	施設来場者、宿泊者、イベント参加者の累計
恩納村	4,255,642	OCVB お出かけノウハウチャーターを使用
伊江村	60,074	乗船者数のみ(車両 12,762 台は含まず)
伊平屋村	16,045	運天港からの乗船数(観光客数 18,044 人)
伊是名村	52,530	運天港からの乗船数(観光客数 38,626 人)
合計	13,374,314	上記、北部 12 市町村の入場者数を合計した場合
沖縄県(参考値)	6,774,600	沖縄県の空港、港を利用し入域した人数

出典:各市町村の入域者数を纏めて作成

※以下各市町村の入域者数は提供資料を転載

表:2-2 名護市 入域者数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
観光施設入込客数	123,800	98,448	156,674	150,276	178,866	149,577	207,797	241,766	171,208	233,998	231,635	225,218	2,169,263
宿泊施設入込客数	20,132	19,930	31,805	29,903	32,141	33,918	66,646	74,077	51,957	64,159	57,547	54,843	537,058
イベント集客数	137	27,745	0	20	0	0	0	0	0	0	2,531	340	30,773
合計(名護市)	144,069	146,123	188,479	180,199	211,007	183,495	274,443	315,843	223,165	298,157	291,713	280,401	2,737,094
参考(沖縄県入込)	224,600	179,200	415,700	409,000	396,800	448,500	607,800	640,800	494,700	630,700	615,000	635,000	5,697,800

表:2-3 国頭村 入域者数

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
辺戸岬	235,988	248,834	265,813	380,424	335,805	386,200	439,308	入込者推定者数
内辺戸岬観光案内所				50,706	22,411	24,728	38,636	来訪者数
比地大滝	29,623	27,371	25,333	31,047	23,096	22,696	21,127	入場者数
大石林山	71,711	78,425	82,884	104,952	50,760	57,175	86,262	入場者数
観光物産センター	153,536	153,795	145,900	146,141	117,242	120,260	153,695	レジ通過数
くいなエコ・スポレク公園	66,124	64,994	64,815	62,879	42,122	41,620	46,055	利用者数
くいなパークゴルフ場	5,882	5,399	4,298	4,287	3,516	3,460	1,741	利用者数
やんばる森のおもちゃ美術館	13,455	12,452	12,846	11,484	4,167	4,545	12,680	入場者数
安田クイナふれあい公園	17,784	15,288	15,464	19,801	13,408	21,812	35,668	入場者数
やんばる3村拠点施設（案内所）	18,817	23,663	1,548	3,220	685	132	1,740	窓口対応者数(H30～変更)
道の駅やんばるバイナッブルの丘安波							57,882	入場者数
JALプラバートリゾートオカマ	135,746	131,630	136,813	128,158	70,075	75,989	119,210	宿泊者数（延べ）
森林公園（バンガロー等）	4,446	3,256	3,028	2,365	2,131	2,770	1,972	宿泊者数（延べ）
奥ヤンバルの里	4,304	4,078	4,161	4,226	1,058	4,790	5,100	宿泊者数（延べ）
楚洲あさひの丘	1,824	1,620	2,531	1,584	0	590	715	宿泊者数（延べ）
よんな一館	316	191	372	161	112	125	388	宿泊者数（延べ）
やんばる学びの森	22,134	20,748	19,633	18,894	8,301	4,386	9,053	来訪者数
宿泊者数：合計	146,320	140,775	146,905	136,494	73,376	84,264	127,385	
入り込み数：総合計	635,370	650,969	638,534	783,129	599,102	662,286	865,211	

表:2-4 大宜味村 入域者数

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
芭蕉布会館	6,725	7,009	1,868	2,114	5,314	
活性化センター（旧道の駅）	72,476	74,996	33,000	28,279	43,653	30,659
ター滝（駐車場）	24,491	33,989	33,890	37,971	29,628	33,370
やんばるの森ビジターセンター（販売施設等）		28,493	110,938	118,038	111,060	79,150
やんばるの森ビジターセンター（情報発信施設）		8,048	17,513	19,403	24,952	21,309
大保ダム学習資料館	1,982	2,041	125	238	446	4,926
民泊	3,034	11,508	125	949	8,102	13,820
総計	108,708	166,084	197,459	206,992	223,155	183,234

(12月末現在)

表:2-5 東村 入域者数

年度	つつじ祭り	山と水の生活博物館	主な民間観光施設	福地川海浜公園	文化・スポーツ記念館	エコパーク	福池ダム	新川ダム	ヒルギ公園			農業体験等(人、校)	合計		
									一般コワー客	一般入り込み客 うち修学旅行(人、校)					
H23	41,582	8,198	69,589	-	-	45,709	23,900	10,100	24,860人	62,670人	16,008人	337校	7,414人	69校	294,022
H24	41,850	8,943	52,793	-	-	48,533	14,322	9,672	27,239人	57,381人	15,664人	299校	8,891人	58校	269,624
H25	38,316	9,917	52,224	-	-	52,239	10,089	6,845	28,088人	60,476人	16,283人	336校	9,361人	62校	274,755
H26	33,014	9,126	52,561	-	-	59,812	21,752	5,204	28,132人	50,780人	14,299人	292校	11,157人	79校	271,538
H27	41,245	11,409	37,053	10,207	-	77,850	16,611	4,539	31,326人	33,171人	15,550人	303校	9,339人	66校	272,750
H28	33,334	10,122	48,857	13,928	-	47,049	16,772	7,507	16,770人	35,109人	14,342人	306校	8,135人	42校	237,583
H29	37,250	13,357	96,705	13,910	5,487	59,553	12,086	3,925	24,798人	50,385人	15,363人	307校	11,377人	62校	328,833
H30	35,106	14,215	104,654	14,150	5,527	58,369	11,346	3,685	25,459人	51,388人	14,644人	325校	11,481人	71校	335,380
H31R1	0	12,401	104,740	15,934	4,600	51,024	9,791	3,337	24,552人	49,270人	14,187人	243校	10,572人	68校	286,221
R2	21,204	3,837	86,263	7,628	2,545	30,830	5,522	2,091	5,368人	26,432人	1,925人	27校	0人	0校	191,720
R3	27,783	5,092	96,017	10,922	2,482	27,138	10,660	4,179	10,120人	28,756人	2,604人	80校	71人	1校	223,220

表:2-6 今帰仁村 入域者数

観光施設名	観光入込客数(人)												
	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	
①今帰仁城跡	248,513	249,998	266,398	286,215	293,331	301,479	274,867	252,155	239,250	77,577	68,572	182,592	
②今帰仁村歴史文化センター	128,275	127,750	131,467	126,760	139,229	130,113	107,568	103,731	91,451	28,876	27,677	80,269	
③今帰仁の駅そ〜れ	79,241	72,896	75,203	72,679	75,238	74,049	72,525	69,481	70,153	66,426	70,333	66,357	
④古宇利ふれあい広場食堂	17,856	21,143	21,090	22,195	23,570	45,610	23,211	22,374	21,194	8,638	10,637	12,410	
⑤古宇利橋詰広場(パーゴラ・パーラー)	211,069	237,683	231,745	203,690	202,368	222,677	230,307	245,500	218,204	52,614	64,782	137,448	
⑥古宇利テナント												69,601	
⑦宿泊施設	71,464	69,518	72,676	86,406	89,021	108,046	83,068	109,358	100,212		61,972		
⑧乙羽岳(キャンプ場・バンガロー)	0	1,689	2,196	2,062	2,308	3,121		1,293	3,332	5,423	3,738	3,728	
⑨DRIVE IN リカリカワルミ						36,717	48,852	46,165	39,092		2,481	37,811	
⑩													
⑪													
⑫													
⑬													
計	756,418	781,336	801,455	800,502	825,802	923,207	840,398	850,057	782,888	239,554	310,192	590,216	

表:2-7 本部町 入域者数

項目	令和4年度	令和3年度	前年度比%	
1 沖縄県観光客入域者数	6,774,600	3,274,300	206.9%	
2 海洋博公園入園者数(本町入域)	2,746,957	958,364	286.6%	
3 美ら海水族館入館数	2,164,510	620,115	349.0%	
4 ホテル宿泊者数	591,224	255,454	231.4%	
	県内者	67,660	56,964	118.8%
	国内者	430,596	181,641	237.1%
	修学旅行(民泊含む)	68,703	16,821	408.4%
外国人	24,265	28	86660.7%	
5 民宿/ペンション宿泊者数	21,983	9,423	233.3%	
	県内者	5,496	2,342	234.7%
	国内者	9,910	7,077	140.0%
	修学旅行	5,438	0	#DIV/0!
外国人	1,139	4	28475.0%	
6 ホテル/民宿/ペンション宿泊者数の合計	613,207	264,877	231.5%	
	県内者	73,156	59,306	123.4%
	国内者	440,506	188,718	233.4%
	修学旅行	74,141	16,821	440.8%
外国人	25,404	32	79387.5%	
7 町内昼食者数	209,108	36,382	574.8%	
	ホテル(9軒)	102,063	10,986	929.0%
	レストラン(2軒)	107,045	25,396	421.5%
8 水納島入域者数	47,379	28,303	167.4%	
9 水納島宿泊者数(人員40名1軒)	824	924	89.2%	

表:2-8 金武町 入域者数

金武町入域観光客数(2018年度)		単位:人
令和3・4年度新規OPEN施設14、15、16(令和4年度)		
1 たんぼフェスタ	3,990	
2 金武町まつり	5,000	
3 金武町エイサーまつり	5,000	
4 金武町ぬらぐずいまーさむんフェスタ	3,000	
5 日秀洞	3,500	
6 金武町研修施設	535	
7 金武観音寺	8,000	
8 ネイチャーみらい館	95,638	
9 金武町陸上競技場(スポーツキャンプ等)	9,524	
10 金武町フットボールセンター(スポーツキャンプ等)	36,619	
11 金武町ベースボールスタジアム(スポーツキャンプ等)	18,013	
12 金武ダムまつり	3,000	
13 金武ダム	21,000	
14 新開地地区	120,000	
15 K I Nサンライズビーチ(令和4年度実績)	20,000	
16 アスボスティホテル(令和4年度実績)	5,991	
17 金武町パークゴルフ場(令和4年度実績)	14,369	
合計	373,179	人



表:2-9 宜野座村 入域者数

分類	施設数	R4年度		R3年度		R2年度		備考	情報収集先	数字根拠
		延べ人数	観光入客	延べ人数	観光入客	延べ人数	観光入客			
商業	タビックタラソセンター宜野座	76,686	15,337	59,312	11,862	44,307	8,861	2割	カンナタラン	利用者数
	道の駅ぎのぎ(未来ぎのぎ)	139,722	27,944	139,312	27,862	141,866	28,373	2割	未来ぎのぎ	レジ通過数
	道の駅ぎのぎ(観光拠点施設)	683,686	136,737	578,885	115,777	474,524	94,905	2割	観光協会	レジ通過数
	宜野座カントリークラブ	77,087	23,126	8,255	2,477	61,990	18,597	3割	カントリー	利用者数
	かななパークゴルフ場	20,479	8,192	27,081	10,832	24,821	9,928	4割	かななパークゴルフ	利用者数(年間情報)
小計	997,660	211,336	812,845	168,810	747,508	160,664				
観光	阪神キャンプ	59,800	35,880	8,900	5,340	0	0	6割	キャンプ担当	来場者
	カンナヴィラリゾート	5,256	4,730	1,591	1,432	4,838	4,354	9割	ヴィラ	利用者数
	漢那ダム	46,937	32,856	46,684	32,679	46,973	32,881	7割	漢那ダム支所	利用者数
	漢那ビーチ	1,671	501	48	14	1,393	418	3割	管理委託業者	利用者数(年間情報)
	小計	113,664	73,967	57,223	39,465	53,204	37,653			
体験	民泊事業	699	699	0	0	0	0	全	観光協会	利用者数
	夢の扉楽園王国	0	0	0	0	0	0	全	新里長子	利用者数
	知名陶房	540	270	25	13	0	0	5割	知名陶房	利用者数
	いちご狩り	21,600	19,440	30,888	27,799	30,888	27,799	9割	産業振興課	利用者数
	松田地区体験交流センター	571	571	651	651	697	697	全	松田産乳洞協会	利用者数(探検)
小計	23,410	20,980	31,564	28,463	31,585	28,496				
県内スポーツ関係	宜野座ドーム	13,289	2,658	9,907	1,981	9,292	1,858	2割	教育課施設	利用者数
	宜野座球場	5,437	1,087	2,679	536	4,627	925	2割	教育課施設	利用者数
	総合体育館	22,676	4,535	11,259	2,252	15,994	3,199	2割	教育課施設	利用者数
	総合グラウンド	4,982	498	4,340	434	6,172	617	1割	教育課施設	利用者数
	多目的スポーツ施設	9,637	964	7,864	786	8,723	872	1割	教育課施設	利用者数
小計	56,021	9,742	36,049	5,989	44,808	7,471				
その他	宜野座村立博物館	2,474	1,732	866	606	1,786	1,250	7割	博物館	来館者数
	文化センター	13,462	9,423	8,177	5,724	6,027	4,219	7割	観光商工課文化センター	
	宜野座まつり	14,000	4,200	0	0	0	0	3割	観光商工課まつり	来場者数
	沖縄パークフェスティバル	0	0	0	0	0	0	7割	観光協会	来場者数
	リハーサイドフェスタ(7/24-7/26)	441	309	581	407	63	44	7割	観光協会	来場者数
	漢那ダムまつり	0	0	0	0	0	0	8割	ダムまつり担当	来場者数
	道の駅ファスティバル	8,071	6,457	4,761	3,809	600	480	8割	観光協会	来場者数
	オープンガーデン	2,487	746	2,000	600	3,000	900	3割	観光協会	来場者数
小計	40,935	22,867	16,385	11,146	11,476	6,893				
合計	1,231,690	338,892	954,066	253,873	888,581	241,177				

表:2-10 恩納村 入域者数

月	2022	2023
04	250,253	381,292
05	237,047	370,725
06	265,036	363,747
07	430,559	459,717
08	423,109	387,397
09	253,574	292,820
10	391,034	398,437
11	420,551	
12	423,149	
01	317,043	
02	382,441	
03	451,846	
合計	4,255,642	2,654,135

出典:OCVB おでかけウォッチャー

表:2-11 伊江村 入域者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大人	3,595	3,869	2,259	2,865	3,922	2,264	3,172	2,856	2,963	2,868	2,633	3,197	36,463
大人団体	942	1,536	367	429	179	144	3,056	3,203	2,937	804	2,031	1,155	16,783
小人	260	301	77	235	612	78	222	107	249	271	119	245	2,776
小人団体	124	50	137	131	114	790	725	1,243	134	480	47	77	4,052
車両	1,109	1,054	941	1,099	1,444	770	1,088	1,007	1,139	1,039	944	1,128	12,762
合計	6,030	6,810	3,781	4,759	6,271	4,046	8,263	8,416	7,422	5,462	5,774	5,802	72,836

(入域者数 60074=合計 72836-車両 12762)

表:2-12 伊平屋村 入域者数

区分	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4
A 総利用客数(※)	—	—	—	43,458	42,919	46,404	46,988	37,731	36,126	32,729	30,007	30,177	29,987	33,009	28,463	28,453	33,590	33,880	35,258	35,958	37,225	39,915	40,921	44,612	30,529	36,841	36,941
B 運天港からの乗船者数	21,120	19,223	20,982	19,624	18,919	21,784	21,300	16,750	17,035	14,496	13,041	13,826	14,027	16,491	15,761	14,502	15,668	15,139	14,946	15,609	16,178	16,500	18,526	22,466	11,780	9,997	16,043
C うち村居住者数 B*5%	1,056	961	1,034	991	946	1,089	1,065	788	852	724	652	691	701	825	788	725	784	757	717	780	809	825	926	1,123	589	500	802
D うち船客数 B*5.0%	1,056	961	1,034	991	946	1,089	1,065	788	852	724	652	691	701	825	788	725	784	757	717	780	809	825	926	1,123	589	500	802
E 運天港からの月間乗船台数	4,619	4,146	4,593	4,311	4,601	4,719	4,352	3,363	3,804	3,307	2,967	2,798	2,897	3,145	3,154	3,067	3,444	3,194	3,498	3,332	3,477	3,383	4,217	4,197	4,178	3,499	5,028
F 上02/2 E*2/3	2,310	2,074	2,294	2,256	2,301	2,350	2,276	2,575	2,402	2,264	1,978	1,854	1,798	2,096	2,102	2,004	2,286	2,124	2,330	2,221	2,318	2,635	2,811	2,791	2,784	2,226	3,350
G 他の交通手段	600	600	600	600	600	600	600	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	600	600	253
H 観光客数B-C-D+F+G	21,918	19,975	21,497	20,697	19,927	22,583	22,048	19,153	20,134	17,781	16,115	16,767	16,822	19,338	18,687	17,456	18,815	18,149	17,641	18,669	19,278	21,685	21,884	25,410	13,988	11,925	18,044
I 対前年比%	-17.6%	-8.9%	7.8%	-3.7%	-3.7%	13.2%	-2.3%	-15.5%	-10.0%	-12.1%	-9.0%	3.7%	0.7%	15.0%	-3.4%	-6.6%	7.6%	-3.0%	-2.8%	5.8%	3.3%	12.5%	0.9%	16%	-45%	-15%	51%
J N年-(N-1)年	3,104	-1,843	1,923	-800	-770	2,638	-519	-3,412	-1,813	-2,432	-1,387	593	115	2,518	-651	-1,231	1,359	-696	-508	1,028	609	2,407	199	3,528	-11,424	-2,061	6,118
K 観光客の割合%L/(A+G)	—	—	—	47%	46%	48%	46%	48%	52%	50%	50%	51%	52%	55%	51%	60%	52%	50%	47%	49%	49%	51%	51%	54%	45%	32%	49%
L 運船実績(運行回数)	—	493.5	548.5	578.5	622.5	652.5	649.5	641.5	619.0	600.5	641.0	636.5	684.0	614.5	649.0	621.5	646.5	649.5	664.0	671.5	690.5	695.5	674.0	694.5	636.5	626.5	649
M 欠航数	—	46.5	19.5	32.5	64.5	76.5	81.5	86.5	117.0	95.0	85.0	89.5	44.5	54.5	49.0	77.5	80.0	60.0	44.0	27.5	24.0	27.5	59.5	49.5	97.0	78	80
N 合計(運船計画 L+M)	—	540.0	568.0	612.0	687.0	729.0	731.0	732.0	699.5	706.0	706.0	708.5	699.0	698.0	709.0	706.5	708.5	708.0	699.0	704.5	713.0	732.5	734.0	733.5	702.5	728.5	728.5
O 稼働率(%) L/N	—	91.4%	96.9%	94.7%	90.9%	89.2%	88.1%	84.0%	85.8%	90.8%	90.2%	93.7%	91.9%	93.0%	89.1%	91.5%	91.6%	93.8%	96.1%	96.6%	96.1%	92.0%	93.2%	86.8%	89.2%	89.1%	89.1%

※Aは、乗船券購入者(上り便・下り便の乗船者往復券及び自動車往復券含む)

表:2-13 伊是名村 入域者数

	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	TOTAL	平均
運天港からの乗船者数・A	23,439	23,298	21,637	20,948	23,988	24,129	24,713	26,300	28,934	27,262	27,144	28,643	28,340	11,902	10,593	16,441	367,71	52,530
村居住者数 A*5.0%B	1,172	1,165	1,082	1,047	1,199	1,206	1,236	1,315	1,447	1,363	1,357	1,432	1,417	595	530	822	18,386	2,627
帰省客 A*5.0% C	1,172	1,165	1,082	1,047	1,199	1,206	1,236	1,315	1,447	1,363	1,357	1,432	1,417	595	530	822	18,386	2,627
運天港からの自動車台数D	5,410	4,673	4,359	4,221	4,364	4,091	10,017	12,288	12,964	11,526	11,787	11,202	11,769	9,967	10,645	12,948	142,231	20,319
上の1/2 D/3*2 E	3,607	3,115	2,906	2,814	2,909	2,727	6,678	8,192	8,643	7,684	7,858	7,468	7,846	6,645	7,097	8,632	94,821	13,546
エアードルフィン F	138	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	138	20
村居住者数 F*5.0% G	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
帰省客 F*5.0% H	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	1
他の交通手段(伊平屋経由等)	2,400	2,400	2,400	2,400	1,622	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	37,622	3,135
観光客数(A+B+C+E+F+G-H+H+G+I)	27,226	26,484	24,779	24,067	26,121	26,843	31,320	34,262	37,083	34,620	34,688	35,647	35,752	19,756	19,030	25,829	463,507	38,626
前年比率% K	—	-3%	-6%	-3%	9%	3%	17%	9%	8%	-7%	0%	3%	0%	-45%	-4%	36%	—	—
前年比	—	-742	-1,704	-712	2,053	723	4,476	2,942	2,821	-2,463	68	959	105	-15,996	-726	6,799	—	—

## (2) 各市町村観光関連計画の整理

- ・ 各市町村の総合計画及び観光関連計画を下記に整理した。
- ・ 観光関連計画の策定がない場合で、総合計画に観光関連施策等が踏襲されている場合は、総合計画より関連箇所を抜粋整理した。ほかに、観光関連計画のみでなく、総合計画にも関連施策があれば抜粋した。

### ①名護市

#### 【第5次名護市総合計画 2020-2029】

テーマ	「つなぎ、創る・しなやかな未来」 求められる名護市の役割「豊かなつながり誇りのまち・響き合う北部の中核都市・新しい時代の小さな世界都市」
基本理念	共生 人、自然、地域が共に手を取りあうまち 自治 わたしがつたえしらしく輝きはばたけるまち 協働 様々な領域を越えて集まり大きく響きあうまち

#### 【第5次名護市総合計画 2020-2029:観光関連の基本方針と施策】

項目	方針	施策
文化・交流	楽しみのあるまちづくり	・社会教育の充実 ・地域コミュニティの活性化 ・スポーツ・レクリエーション活動の充実 ・芸術・文化活動の充実 ・交流の推進 ・人権や多様性の尊重
産業振興	活力のあるまちづくり	・観光の振興 ・産業の振興 ・林業・漁業の振興 ・商工業の振興 ・雇用の創出と就労支援の充実
都市基盤・生活環境	暮らしやすいまちづくり	・自然と共生するまち ・道路・交通ネットワークの充実 ・快適な居住環境の整備 ・上下水道の充実 ・環境にやさしい循環型社会の構築
防災・安全	安全・安心なまちづくり	・安全・安心なまちづくりの推進 ・防災・救急体制の充実

#### 【第2次名護市観光振興基本計画(令和2年3月):基本理念】

「自然とまちが融合した魅力あふれる“やんばる観光の拠点・名護”～人と豊かな自然・文化を活かし、訪れた人の心と地域を豊かにする、活力ある協働の地域づくり」
--

#### 【第2次名護市観光振興基本計画(令和2年3月):将来像と基本方針】

将来像	基本方針
滞在型観光地として付加価値の高いメニューが充実している	方針1 名護市内への滞在促進
外国人、MICE、スポーツといった様々な観光客を受け入れている。	方針2 様々な観光客の受け入れ体制充実
北部の玄関口としての機能を果たしている(情報面や滞在面)	方針3 マーケティング・プロモーションの充実
観光振興のために市民と観光関連事業者、観光関連組織が連携し、協働体制が構築され、取り組みを通じて市民が誇りや豊かさ、住みよさを実感している	方針4 観光振興の推進体制の確立・強化

【第2次名護市観光振興基本計画(令和2年3月):基本方針に対する具体的な取り組み・施策】

基本方針	取り組み・施策
方針1 名護市内への滞在促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な資源を活用した滞在メニューの提供</li> <li>・イベントの着地型コンテンツとしての見直し</li> <li>・中心市街地の滞在促進</li> </ul>
方針2 様々なツアーリストの受け入れ体制充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域も含めた観光案内機能の充実</li> <li>・外国人受け入れ環境の充実</li> <li>・様々なツアーリストの受け入れ環境の充実</li> <li>・広域連携体制による受け入れ推進</li> <li>・観光人材等の確保・育成</li> <li>・危機管理体制の構築</li> </ul>
方針3 マーケティング・プロモーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的なデータの取得、分析</li> <li>・来訪者のニーズに応じたプロモーション手法の構築</li> <li>・地域のブランド育成・強化</li> <li>・ブランドを活かしたプロモーションの実施</li> </ul>
方針4 観光振興の推進体制の確立・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域(市民・事業者)の観光振興に対するコンセンサスの形成</li> <li>・市内の観光振興体制の強化</li> <li>・産学官連携体制構築</li> <li>・広域連携体制の充実</li> </ul>

【第2次名護市観光振興基本計画(令和2年3月):基本方針に対する指標と目標】

基本方針	指標	把握方法	基準値	目標値(R6)
方針1 名護市内への滞在促進	平均滞在時間(ポイント)	観光客アンケート	半日程度以上 71.2%	78%
	平均立寄箇所数	観光客アンケート	23か所	4か所
	観光消費(人・円)	観光客アンケート	13,306円	14,400円
	満足度(ポイント)	観光客アンケート	87.4%	90%
	市民の地域経済効果の実感(ポイント)	市民アンケート	27.0%	30%
	事業者の地域経済効果の実感	事業者アンケート	56.4%	65%
方針2 様々なツアーリストの受け入れ体制充実	入込客数	観光施設等へのモニタリング調査	5,126千人/年	6,025千人/年
	宿泊客数	宿泊事業者へのモニタリング調査	1,333千人/年	1,366千人/年
方針3 マーケティング・プロモーションの充実	市民の観光の認知度(ポイント)	市民アンケート	—	—
	魅力度(ポイント)	Webアンケート	—	—
方針4 観光振興の推進体制の確立・強化	市民の理解度(ポイント)	市民アンケート	62.9%	75%
	市民の満足度(ポイント)	市民アンケート	39.6%	50%
	事業者の観光振興の推進体制の確立・強化の実感(ポイント)	事業者アンケート	—	—

【第2次名護市観光振興基本計画(令和2年3月):評価等】

- ・ 名護市では、第1次計画の施策評価・検証を行っている。
- ・ 観光施策関連事業全18プロジェクトのうち未実施・未達成が6件あり、その要因として、取り組みの継続不可、予算確保ができなかった、関係者間連携調整ができなかった、第1次計画の施策への成果指標や目標値の設定がなかったことがあげられている。
- ・ 未達成プロジェクトは、「イベント・まつりの再検討の効果的な活用」、「MICEの誘致」、「マーケティング調査の実施」、「マーケティングミックスの強化」、「観光推進体制の見直しと強化」、「観光施策の点検・評価」がある。

【第2次名護市観光振興基本計画(令和2年3月):課題】

課題	内容
名護市内への滞在促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区ごとの多様な地域資源を活用した本物の名護を体感、体験する滞在メニューの提供</li> <li>・市内周遊促進により、滞在時間や立ち寄り箇所を増加し、地域の経済循環の創出</li> <li>・中心市街地における滞在メニューの検討</li> <li>・イベントの着地型コンテンツとしての見直し</li> <li>・中心市街地周辺部の宿泊施設整備</li> </ul>
様々なツアーリストの受入体制充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域も含む観光案内機能の充実</li> <li>・外国人受け入れ環境の充実</li> <li>・長期合宿等スポーツツーリズムや MICE、ビジネス客等の受入対応強化</li> <li>・広域連携体制による受入推進</li> <li>・観光人材、支援人材の確保・育成</li> <li>・危機管理体制の構築充実</li> </ul>
マーケティング・プロモーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的なデータの取得・分析</li> <li>・来訪者のニーズに応じたプロモーションの手法の構築</li> <li>・地域のブランド育成・強化</li> <li>・ブランドを活かしたプロモーションの実施</li> </ul>
観光振興の推進体制の確立・強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の観光振興に対するコンセンサスの形成(ビジョン共有、ルール作り)</li> <li>・市内の観光振興体制の強化(役割分担明確化、施策評価・見直し体制構築)</li> <li>・産学官連携体制構築(資源の保全や協働、メニュー開発)</li> <li>・広域連携体制の充実(クルーズ、世界自然遺産、サイクルツーリズム等)</li> </ul>

【第2次名護市観光振興基本計画(令和2年3月):広域連携について】

項目	意見
広域連携(共通意見)	・北部12市町村の足並みが揃わず、関連主体が多いため合意形成が困難である。
広域連携(個別意見)	・自転車を利用した連携を進めたい。広域でのレンタサイクル整備にも可能性がある。
広域交通(共通意見)	・北部到着後の交通手段の確保について、地域側で連携する必要がある。
広域交通(個別意見)	・海上交通は第一マリンド OCVB が運用検討を行っている。また、鉄軌道計画は工事完了まで20~25年かかる見込み。
広域課題(共通意見)	・受入体制より北部をデスティネーションにする施策が大事。クルーズ船受入ではお金が落ちる仕組みづくりの構築が必要。
広域課題(個別意見)	・北部の自然の魅力をしっかり見直すべき。オリオンビールブランドの観光コンテンツとしての活用は有効。インバウンド対応が未発達。

## ②国頭村

### 【第5次国頭村総合計画 基本構想・基本計画(令和4年3月):将来像】

テーマ:村民憲章の理念である「森と水とやすらぎの里“くにがみ”」  
森・川・里・海の絶妙なバランスにより健全な物質循環が構築され、人間もそのバランスの中で生きている

### 【第5次国頭村総合計画 基本構想・基本計画(令和4年3月):基本目標と施策方針】

基本目標	施策の方針	内容(施策の展開)
1. 自然を愛し活かした豊かで活力あるむらづくり	農業振興 森林業振興 水産業振興 商工業振興 観光・リゾート振興	生活基盤の充実、農業経営の安定化、持続可能な農業推進、生産体制・人材強化 公益機能の発揮、林業経営の安定、森林資源のレクリエーション利用、森林セラピーの推進、森林ツーリズムの推進 漁業環境の整備、持続可能な漁業振興のための水産資源の維持・管理、漁業経営の安定化 商業の振興、工業の振興 地域資源の保全及び活用、滞在・体験型観光地の形成、地域経済への波及、国頭村の新たな観光コンテンツの創出
2. 花と緑に包まれたやさしい美らむらづくり	土地利用方針 拠点地区及び集落の整備	自然維持エリア、自然エリア、農業エリア、商業エリア 拠点地区の形成、集落の整備、村営住宅の維持管理、所有者不明土地の早期解決、宅地分譲の検討
3. 決まりを守り快適で住みよいむらづくり	環境共生型空間づくり 道路・交通体系 公園緑地の整備 地域の防災・防犯対策 情報通信網の整備	自然環境の保全、衛星環境の対策 同の整備、公共交通の確保 公園整備、公園活用、沿道緑化の推進 消防・地域防災、防犯・交通安全 情報通信の利活用
4. 夢と希望を育む教育・文化の光るむらづくり	学校教育の充実 生涯学習の充実 青少年の健全育成 文化振興 スポーツ振興 誰もが自分らしく活躍できる社会の形成 国立自然史博物館の誘致	教育環境の向上、教育内容の向上、環境教育の充実 生涯学習内容の充実、推進体制の確立、基盤整備の推進 地域環境の整備、教育環境の充実 文化財の保護継承、新しい文化の振興 施設の整備・利活用、活動の普及・促進 社会参画の促進  国立自然史博物館の誘致に向けた取り組み
5. 水とエネルギーに感謝し資源を大切にすむらづくり	簡易水道の経営及び整備 環境保護と基盤整備 再生可能エネルギーの活用	簡易水道の経営及び整備、新規資源の開発、簡易水道事業の広域化及び公営企業化 廃棄物処理・排水処理、環境対策 再生可能エネルギーの活用と省エネルギー化の促進
6. うるおいとやすらぎのある健康で安全なむらづくり	老人福祉の充実 児童・母子福祉の充実 心身障がい者(児)福祉の充実 保険・医療の充実 地域コミュニティの醸成	老人福祉サービスの充実、生きがいづくり 児童・母子福祉サービスの充実 心身障がい者(児)福祉サービスの充実、地域と関係機関との連携 保険・医療、国民年金・国民健康保険 推進体制の確立

### 【国頭村観光振興基本計画 2017-2017(平成29年3月):基本理念】

「命・癒し・健康をコアとするくんじゃんツーリズムの実現」 ※くんじゃん＝国頭

### 【国頭村観光振興基本計画 2017-2017(平成29年3月):将来像と基本方針】

自然環境、産業・歴史文化、スポーツという3本の柱をエコツーリズム、グリーン・カルチャーツーリズム、スポーツツーリズムとして推進するとともに、3本の柱の相乗効果を高めるための観光基盤の整備を行う。この全体を「くんじゃんツーリズム」として推進する。

【国頭村観光振興基本計画 2017-2017(平成 29 年 3 月):基本方針に対する取り組み・施策】

方針	施策	内容	
1. 自然環境 エコツーリズム	施策1 環境共生型観光の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全ルール・仕組みの構築</li> <li>・環境保全と利活用の両立に向けた取り組み</li> <li>・世界自然遺産登録による仕組みの強化</li> <li>・森林ツーリズムの推進</li> <li>・海洋ツーリズム計画の推進</li> </ul>	
2. 産業・歴史文化 グリーン・カルチャーツーリズム	施策2 一次産業、歴史文化資源の保全利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次産業と連携した観光事業の実施</li> <li>・民泊の受入強化</li> <li>・ご当地メニュー開発</li> <li>・土産品の開発</li> <li>・集落散策の推進</li> <li>・歴史文化資源を活用した新たな観光プログラムの検討</li> <li>・村内イベント・祭りの活用</li> </ul>	
3. スポーツ スポーツツーリズム	施策3 スポーツツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ施設の整備</li> <li>・スポーツ合宿・キャンプ等の誘致</li> <li>・プロスポーツキャンプ等の誘致</li> <li>・マリンスポーツの推進</li> <li>・サイクリングツーリズムの推進</li> <li>・パークゴルフの推進</li> <li>・スポーツの推進</li> </ul>	
上記3つを支える観光基盤	施策1 ブランド強化・情報発信 施策2 滞在型観光の推進 施策3 外国人旅行者対応の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マーケティングの実施</li> <li>・プロモーションの実施</li> <li>・村内周遊の促進</li> <li>・観光拠点の整備</li> <li>・宿泊施設の誘致</li> <li>・多言語対応スタッフの確保・育成</li> <li>・多言語案内サインの整備</li> <li>・多言語情報発信ツールの作成</li> </ul>	
	施策4 村内インフラの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクセス道路の整備</li> <li>・「道の駅」等の休憩施設の整備</li> <li>・駐車場の整備</li> <li>・地域交通の強化</li> <li>・wi-fi 環境の充実</li> <li>・インターネット高速回線の普及</li> </ul>	
	施策5 観光人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ガイドの育成・支援</li> <li>・村内人材の登用</li> <li>・村民の観光受入意識の醸成</li> <li>・村内の若い人材が活躍できる場の創出</li> </ul>	
	施策6 広域的な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やんばる3村連携</li> <li>・12市町村との連携</li> <li>・国・県との連携</li> </ul>	
	施策7 村内の連携体制強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光協会の機能強化</li> <li>・地域関係団体間の連携強化</li> <li>・モニタリング体制の充実</li> <li>・多様な観光人材の確保</li> </ul>	
	施策8 災害に強い観光まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危機管理体制の整備</li> <li>・防災情報等の提供</li> <li>・多言語での情報発信</li> </ul>	

【国頭村観光振興基本計画 2017-2017(平成 29 年 3 月):基本方針に対する指標と目標】

指標	把握方法	基準値	目標値
入込観光客数	既存統計調査より村内主要施設の入込客数を集計	約 598 万人	71 万人
観光消費額	観光客を対象とし調査を毎年実施し実績値を集計(祝祭日)	8,100 円	9,600 円
観光人材の雇用者数	・村内の観光人材雇用者数 (観光協会等で村内観光振興に直接的に従事する人)	—	4名

指標	把握方法	基準値	目標値
	材の雇用者数を集計) ・若者の観光人材雇用者数 (観光ガイド人材として新たに従事する若者の数を宗 叡)	—	10名
宿泊施設	・村内宿泊施設の施設数 (村内宿泊施設数の集計) ・村内宿泊施設の客室数 (村内宿泊施設の客室数の集計)	14施設  330室	16施設  450室
民泊の受入数	村内民泊受入数を集計	1,676人	3,340人
集落散策ガイドブックを作製した 集落数	集落散策ガイドブックを作製した村内の集落数を集計	9集落	20集落
スポーツ合宿	村内で合宿を行う県外スポーツ団体数 (県外からの年間村内キャンプ、合宿団体数を集計)	55件	66件

【国頭村観光振興基本計画 2017-2017(平成 29 年 3 月):評価等】

- ・ 特に記載なし

【国頭村観光振興基本計画 2017-2017(平成 29 年 3 月):課題】

- ・ 自然環境、産業・歴史文化、スポーツの3つの要素を活用することが重要。

課題	内容
貴重な森林等を活かした環境 保全と観光振興の両立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国頭村が有する貴重な自然資源が観光振興、観光客増加による景観や自然環境への悪影響への懸念。</li> <li>・自然環境の保全と利活用のバランスのためのルールや仕組みづくりの構築と、観光客数の調整や観光客への啓発。</li> <li>・環境の保全や教育にも注力した、環境共生型観光の先進地として意識を持った取り組みの強化。</li> </ul>
産業・歴史文化を活かした観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一次産業が伝統的に営まれ、観光分野でも体験プログラムとして連携していることから、一次産業と連携した観光事業の展開が必要。</li> <li>・観光客の増加がある一方、経済効果の村内消費の拡大、外貨獲得の好循環に至っていない状況から、独自の食文化消費促進に向けた食の充実、土産品開発の取り組みが必要。</li> <li>・自然環境のみでなく、歴史文化資源が点在していることから、それらを活かしたプログラムの提供による滞在時間の延長、村内周遊を促す観光の仕組みづくりが必要。</li> </ul>
スポーツツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存スポーツ施設を活かした受入強化</li> <li>・陸上スポーツのみでなく、マリンスポーツを含め、森林等の自然環境を活かした新たなスポーツ振興の取り組みが必要。</li> </ul>
観光基盤整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国頭村の知名度をあげるためのさらなる情報発信と来訪者への情報提供の強化。</li> <li>・情報の拡散だけでなく、的確なプロモーション活動を展開する必要がある。</li> <li>・観光客の旅行形態の多様化に対応し、地域を深く知ってもらうための観光拠点整備、消費スポットの整備が必要。</li> <li>・域内周遊を促進するための宿泊機能の強化。</li> <li>・インバウンド向け受け入れ体制の整備。</li> <li>・公共交通の不足による交通インフラ整備</li> <li>・観光客の満足度向上に向けた wi-fi やインターネット環境整備</li> <li>・インバウンド対応も含めたガイドや専門スキル人材の育成</li> <li>・住民のごみの増加、観光客のマナー等への懸念があるため、観光満足度の向上のためにも村民との対話・コミュニケーションを図ることが重要。</li> <li>・災害時の機器管理体制の完備</li> </ul>



【国頭村観光振興基本計画 2017-2017(平成 29 年 3 月):広域連携について(行政と村民の役割)】

項目	役割
行政	・役場内関係部局との連携、横断的推進体制の構築、国・県・関係市町村・観光関連事業者・村民との協議・調整と総合的施策の実現
観光関連団体	・観光協会、商工会等の観光関連団体は、関連事業者との連携体制構築、情報発信・誘客促進に向けたPR
観光関連事業者	・村内観光振興の担い手として主体的な取り組み推進、観光関連事業者間の連携・協力体制充実、観光客のニーズに対応したサービス提供や施設整備・管理、村内のおもてなし体制強化に向けた人材確保と育成
村民	・地域の自然環境や産業・歴史文化に誇りを持ち、これら資源の知識を有し、おもてなしの心を持った観光客との交流、観光振興に向けた積極的な参画

### ③大宜味村

#### 【大宜味村第5次総合計画 2016-2025(平成28年6月):将来像】

教育・歴史文化の輝く健康長寿村
-----------------

#### 【大宜味村第5次総合計画 2016-2025(平成28年6月):基本理念・基本方針・基本目標・施策】

基本目標	項目	内容(施策の展開)
豊かな自然が生み出す活力ある村づくり	産業振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業の振興(生産基盤の整備、時代に対応可能な農業振興、遊林地や人的資源の活用、経営安定化促進、時代に即した畜産振興。公益機能の充実、森林レクリエーション需要への対応、生産活動の充実、採取漁業の近代化、体験型観光の推進、養殖漁業の拡充、漁業環境の保全、組織強化)</li> <li>・商工業の振興(経営基盤の強化、商業拠点施設の整備、既存製造業の育成・強化、工芸村づくりの推進、新規産業の立地促進)</li> </ul> <p>観光の振興 観光推進体制の構築: エコツーリズム地域協議会の設立・運営、人材育成・確保、受け入れ窓口の活用・充実、景観美化向上の推進</p> <p>観光基盤施設の整備: 森林公園等レクリエーション施設の整備促進、宿泊・商業施設等民間施設の立地促進、特産品展示販売施設等の公的施設の整備、外国人観光客受入のための施設整備の推進</p> <p>観光資源の開発: エコ・グリーン・ブルーツーリズムの観光資源の開発、各種イベントの開発、近隣市町村との連携による観光の推進、村キャラクターの活用促進</p> <p>環境保全型観光の推進: 自然環境の調査・記録、ガイドラインの作成・運用、自然環境保全活動の推進、自然環境教育の推進、広域観光ルートの定着促進</p>
歴史に学び人を育む文化の村づくり	教育・文化の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の振興(幼稚園教育の振興:教育環境の整備、教育内容の充実、幼稚園と保育所の連携体制/義務教育の振興:学校教育の充実、学習環境の整備、学校給食の充実)</li> <li>・生涯学習の振興(生涯学習内容の充実、生涯学習環境の整備、社会教育施設の整備)</li> <li>・スポーツ・レクリエーションの振興(スポーツ・レクリエーション施設の整備、スポーツ・レクリエーション活動の充実、健康づくりの推進)</li> <li>・地域文化の振興(文化財の保全・活用:文化財の保全、文化財の活用及び普及、資料館尾整備推進/地域文化の継承:地域文化の継承、文化継承・記録・編集)</li> </ul>
	重点施策	未来を担う人財の育成/公有財産の活用による産業の活性化/地域資源を活かした滞在型観光の推進

#### 【大宜味村第二次観光振興基本計画(令和3年3月):基本理念・将来像・基本方針】

基本理念	自然と文化が織りなす、優雅な茶寿の里～地域資源をフル活用し、持続的に潤い、癒される大宜味～キーワード:「ぶながやの里」=自然、「芭蕉布の里」=文化・織りなす、「シークワサーの里」=優雅(花言葉)、「長寿の里」=茶寿の里
将来像と基本方針	
将来像1	村民が誇りや豊かさを実感する、持続的な観光まちづくりを推進する ～交流人口の増加、就業機会の拡大につながる観光振興
将来像2	大宜味村の魅力を発信し、ファンを大切にする ～リピーターを大切にする観光振興
将来像3	多産業への波及も見据えた取り組みを推進する ～周遊観光、滞在型観光への転換

【大宜味村第二次観光振興基本計画(令和3年3月):基本方針】

基本方針1	“とびっきり”の資源を総動員！！
基本方針2	自然・歴史・文化を満喫 のんびりゆったり癒しのツーリズム
基本方針3	結の心でおもてなし 長寿の里がつくりだす“あったか”ツーリズム
基本方針4	“いぎみパワー(健康長寿)”で前進 大宜味ブランドの確立
基本方針5	観光振興 着実な取り組みができる村ぐるみの体制づくり

【大宜味村第二次観光振興基本計画(令和3年3月):取り組み・施策】

方針	内容
1. “とびっきり”の資源を総動員！！ 魅力を磨き上げるために	・地域資源を磨き上げる村民主体の取り組み推進 ・“クガニーんちゅ”等を目指した取り組みの推進
2. 自然・歴史・文化を満喫 のんびりゆったり癒しのツーリズム	・来訪者が楽しむコンテンツの開発 ・飲食業、土産物店の振興 ・交流施設の整備・活用
3. 結の心でおもてなし 長寿の里がつくりだす“あったか”ツーリズム	・多様なニーズに応える宿泊施設の整備 ・周遊観光につながる基盤整備 ・集落環境の整備 ・自然環境の保全 ・インバウンド対策
4. “いぎみパワー(健康長寿)”で前進 大宜味ブランドの確立	・「おおぎみ」ブランドの構築、付加価値向上 ・効果的な情報発信
5. 観光振興 着実な取り組みができる村ぐるみの体制づくり	・推進体制の充実 ・人的交流の推進 ・観光危機管理体制の整備
重点プロジェクト	・大宜味村観光協会が取り組むプロジェクト ・おいしい、おばあと共に取り組むプロジェクト ・エリアの特性を活かして取り組むプロジェクト

【大宜味村第二次観光振興基本計画(令和3年3月):指標と目標値】

- ・ 特に記載なし

【大宜味村第二次観光振興基本計画(令和3年3月):評価等】

- ・ 「大宜味村観光協会」が設立されたことで村の観光振興の牽引者が明確になった。
- ・ NPO 法人おおぎみまるごとツーリズム協会等の組織が立ち上がったことで NPO を中心としたガイドやコーディネータ等の人材育成が進み、民泊の取り組みにつながった。
- ・ やんばるの森ビジターセンターや結の浜公園等拠点整備が進んだ。
- ・ 既存施設の有効活用が進んでいない。
- ・ 農畜産物を活用した新たな特産品や土産開発は進んでいない。
- ・ 積極的な情報発信弱く、観光に係るデータ収集が行えていない。

【大宜味村第二次観光振興基本計画(令和3年3月):課題】

- ・ 大宜味村の統一したイメージ形成と情報発信(おおぎみブランド、やんばるブランド)
- ・ 雰囲気あるむらづくりと快適に過ごせる観光機能の充実
- ・ 来訪者数でなく、観光消費の促進(多様なコンテンツ、滞在型観光や通年型観光への転換)

- ・ 観光推進体制の構築(大宜味村観光協会を中心とした推進体制の構築、広域連携、データ分析による戦略的取り組み)
- ・ 受入体制・おもてなしの充実(人材教育、育成、村民の愛着と自信醸成、観光危機管理対策)

【大宜味村第二次観光振興基本計画(令和3年3月):広域連携について(体制と役割)】

組織・機関	組織・団体・役割
行政	企画観光課を中心とした各種イベント実施に向けた連携調整、観光振興に関わる取り組み
観光関連団体	
各種協議会	おおぎみツーリズム推進協議会、大宜味村 PR イベント実行委員会、生物多様性センター運営協議会、大保ダム水源地域ビジョン推進協議会、やんばる3村世界自然遺産推進協議会、やんばる交流推進連絡協議会
観光協会	観光振興の主導的組織として各主体と連携し、情報収集・発信、誘客 PR 活動の展開と施策推進に向けた調整機能を果たす
NPO	おおぎみまるごとツーリズム協会、やんばる舎、やんばる森のトラスト
その他	大宜味村商工会、大宜味村婦人連合会、喜如嘉芭蕉布事業協同組合、大宜味村農業委員会、羽地漁業協同組合、大宜味村青年団協議会、婦人会、老人クラブ連合会、大宜味村農産魚村生活研究会
観光関連団体以外	
観光関連事業者(民間事業者)	大宜味村内の小売業、宿泊・飲食・サービス業等の事業者、やんばるの森ビジターセンター
村民(学校含む)	沖縄県立辺士名高等学校はエコツアーガイドのサポーターとしても活躍している。村民は集落美化、伝統行事、収穫作業等を行っている。また、共同作業でシークワサー畑の管理を行う区もある。
広域連携	北部広域市町村圏事務組合において、観光振興に係わる広域連携に取り組んでいる。また、OCVB とも連携し、PR 活動やブランド化、各種取り組みを実施している。(やんばる観光連携推進事業、北部地域自転車ネットワーク計画、やんばる森林ツーリズム推進全体構想)

## ④東村

【第5次東村総合計画後期基本計画(令和3年3月):テーマ・基本目標・施策】

ひと・むら・自然が共生する 未来に輝く農村をめざして

基本目標	大項目	内容(施策の展開)
豊かな自然の中で地域が活きる村づくり	1. 道路・交通・エネルギー 2. 社会基盤 3. 情報・通信 4. 環境衛生 5. 生活安全	道路の整備、公共交通の維持、エネルギー供給基盤の確保 集落・住宅地の整備、公園の整備と管理、河川の整備、水道の整備 情報・通信環境の整備、行政防災無線の活用促進、機器等設備の効率的な維持管理の推進 廃棄物・汚染処理、赤土流出防止対策、公害対策、ノライヌ・ノラネコ対策、環境美化 防災対策、交通安全対策、防犯対策
地域のきずな共同体による健康・福祉の充実	1. 出産・児童福祉 2. 地域保健福祉・高齢者福祉 3. 障がい者福祉 4. 保健医療 5. 社会保障制度の適正維持	妊娠・出産・育児の支援、児童福祉の推進 地域保健福祉の推進、高齢者の健康維持、疾病・介護予防 日常生活の支援、障がい者(児)が活躍できる環境づくり 各世代への健康増進、医療施設の充実、感染症等の予防・対策 福祉事業の効果的な推進、国民健康保険・国民年金の適正運用
地域で育て世界で活躍する人材輩出の推進	1. 学校教育 2. 生涯学習 3. 社会体育 4. 地域文化 5. 人材育成	幼稚園教育、義務教育 生涯学習の振興、図書室利用の促進 社会体育施設の整備、社会体育活動の体制づくり 文化保険・継承活動、文化の保護・継承施設の充実 地域リーダーの育成、英語教育による人材の育成
東村ブランド力の向上による産業の育成	1. 農業 2. 林業 3. 漁業 4. 商工業・新産業誘致 5. 観光・交流	生産基盤の強化・経営の安定化、戦略的農業の推進、後継者・担い手の育成 森林の健全育成、特用林産物生産の増大 生産基盤の強化・経営の安定化、新たな漁業の展開、後継者・担い手の育成(漁業後継者の育成) 地域特産物の PR・開発・販路拡大の促進、各集落協働店の経営安定化促進、雇用の促進・企業誘致 エコ・グリーン・ブルー・ツーリズム、体験型観光の充実強化、観光施設の整備推進
未来の村づくりにつなぐ優先的な施策	1. 過疎対策の推進 2. 地域雇用の対策 3. 移住・定住の促進	活用可能な財政支援の取得・推進、結婚支援、跡地利用の推進 就職支援の充実、持続的な雇用体制の構築 情報発信の強化、受け入れ・定着のための環境整備
効率的な行財政運営の取り組み	1. 行政運営の充実 2. 財政運営の健全化	行政機構の整備拡充、広域行政への対応促進 効率的な財政運営、自主財源確保の取り組み強化

【東村第3次観光振興計画(令和4年3月):基本理念】

<p>世界自然遺産登録による東村の自然への理解、まもることにつながるようなサステナブルツーリズム、レスポンシブルツーリズムの視点が求められている 「人類共通の自然をまもりいかに観光×農漁業のおもてなしで交流する観光」</p>
--

【東村第3次観光振興計画(令和4年3月):基本方針・施策】

方針	施策	内容
destinations の整備	<p>観光資源の整備(ハード)</p> <p>観光資源の発掘 資源管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たなフィールドの整備</li> <li>・観光リーディング拠点の整備</li> <li>・地域の歴史・文化資源の発掘</li> <li>・花いっぱいプロジェクトの推進</li> <li>・フィールドの受入容量や管理の在り方の検討</li> <li>・やんばる国立公園、奄美・沖縄世界自然遺産の取り組みの推進</li> </ul>
付加価値の高い観光商品づくり	<p>観光資源の活用(ソフト)</p> <p>商品開発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福地ダム及び周辺地域(馬道トレッキングルート等)の活用</li> <li>・エコ/グリーン・ツーリズムのプログラム開発</li> <li>・ブルーツーリズムのプログラム開発</li> <li>・朝や夜の観光プログラム開発</li> <li>・加工品やご当地メニュー、高付加価値商品の開発</li> <li>・マスコットキャラクターグッズの作製</li> <li>・東村産パインアップルのブランド化推進</li> <li>・地域ブランディングの推進</li> </ul>
誘客のための情報発信・機会創出	<p>情報発信</p> <p>イベント開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSによる情報発信の強化・分析</li> <li>・ターゲットに応じた多様な情報提供</li> <li>・道の駅の情報発信機能の強化</li> <li>・商品・サービス販売機会の多様化、PR強化</li> <li>・村イベントの活性化、地域との連携</li> <li>・屋外でのイベントの企画・実施</li> </ul>
観光推進体制の強化	<p>受入体制の整備</p> <p>関係事業者の相互連携</p> <p>広域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光動向・ニーズの把握</li> <li>・村民ガイド育成等によるガイド人材の多様化</li> <li>・農家民泊の担い手育成</li> <li>・多様なニーズ・インバウンド受入のための整備</li> <li>・関係事業者・団体の相互連携の強化</li> <li>・観光振興計画の推進・進捗管理</li> <li>・周辺地域との協力・連携</li> </ul>

【東村第3次観光振興計画(令和4年3月):指標・目標値】

目標達成指標(KGI)	基準値	目標値(R8)
入域観光客数	19万人	35万人
観光客一人当たり観光消費額	5000円	10000円
村民の東村観光による活気の実感	—	700%

基本方針	内容	評価指標(KPI)	基準値	目標値(R8)
destinations の整備	自然保全、持続的活用を重視した受入容量調整、資源管理の取り組み	・企業誘致数	2件	4件
付加価値の高い観光商品づくり	観光客の消費増、満足度向上を図るためのプログラム充実や滞在時間延長に向けた仕組みの構築、食のブランディング・ブルーツーリズム関連観光の誘客向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新商品数</li> <li>・観光体験者数</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・34個</li> <li>・1,032人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・39個</li> <li>・10,000人 (誘客向上により体験者数)</li> </ul>

基本方針	内容	評価指標(KPI)	基準値	目標値(R8)
誘客のための情報発信・機会創出	ターゲットに応じたメディアの種類やPR方法の工夫、情報発信の強化、村の祭りやイベントの特性をいかしたターゲットの消費意欲に訴求するイベント等の充実	・先進技術を活用した新規事業数	0件	2件
観光推進体制の強化	エビデンスに基づく事業推進のため、観光動向・ニーズの把握、情報発信、連携促進、PDCAによる修正等の実行	・観光客の東村観光への満足度  ・観光振興計画の基本方針の進捗評価	—  ・60.8%	・80% (満足度評価より) ・800%

【東村第3次観光振興計画(令和4年3月):評価等】

※抜粋整理

- ・ ダムツーリズムや森林ツーリズムが開拓され福地川海浜公園利用者が増加
- ・ ブルーツーリズム体験施設の活用促進が課題
- ・ 新たな特産品開発が進んでいる
- ・ 自然環境の保全活用、維持に対し、受入容量設定・利用調整施策が必要
- ・ 観光案内機能の充実やターゲットに応じた取り組み遅れ
- ・ 五味観光跡地やブルーツーリズム体験施設近隣でホテル建設協議が進んでいる

【東村第3次観光振興計画(令和4年3月):課題】

- ・ 世界自然遺産登録や感染症への対応

世界自然遺産と絡めたプログラムの開発やルート検討の取り組みに力を入れる。また、観光客受入容量の調整や村内・広域の連携等を一層強化する。感染症による影響を踏まえ、新しい生活様式への対応、観光客数や核施設、プログラム利用者数の回復に向けた取り組みが必要。

- ・ エコ/グリーン/ブルーツーリズム

ブルーツーリズムへの取り組みが一部遅れていることから、ブルーツーリズム体験施設と周辺の海の環境を積極的にいかしていく取り組みやプログラムを実施する人材確保が求められる。また、グリーン・ツーリズムの農家民泊が高齢化により危機的状況にあることから、後継者育成やエコツーリズムにおける村民ガイドの育成、繁忙期のガイドOBの確保等、多様な人材育成が急務。

- ・ 観光客の滞在時間の延長や消費額の向上

東村の滞在時間は1日未満が多く、村内消費額も1万円以下が6割を占め、宿泊場所に乏しいことから、五味観光跡地やロラン局跡地の活用を推進し、宿泊施設の誘致等に力を入れる必要がある。

- ・ ニーズの把握と関係事業者や団体間での情報共有

年齢層や滞在時間によって観光行動や消費嗜好が異なるため、定期的に観光客動向やニーズを把握し、ターゲット

トを定め、集落からサービス提供までパッケージ型オペレーションを実施し、他地域と差別化する。また、観光関係団体や事業者間で観光データ・情報が共有されていない状況があるため、計画を効果的に進めるためにも関係者間連携の強化が必要。

【東村第3次観光振興計画(令和4年3月):広域連携について】

※計画の推進体制と主な役割より

行政	計画実現に向けたリーダーシップ、関係組織や観光関連事業者への支援、インフラ整備、村全体のPR活動、本村の計画に基づく国内外各登録制度や認証制度への取り組みによる地域価値の向上
観光関連団体 (観光推進協議会)	地域と来訪者及び多様な主体をつなぐ、観光事業の中心的役割を担い各事業展開を図る、ブランディングに向けた取り組みによる魅力や価値向上
観光関連事業者	顧客満足度の向上、来訪者機会に対し、各自の特徴をいかした事業・サービス提供、観光PR、プログラム開発、地域資源の発掘
村民	情報発信、地域自然や文化に対する誇りや愛着の醸成、来訪者を様々な交流や会話に招く、観光振興に主体的に関与、観光イベント等村の観光事業や美化・清掃活動への参画



## ⑤今帰仁村

### 【今帰仁村第5次総合計画(令和5年3月)テーマ・基本理念】

テーマ	ゆがふむら 今帰仁～みんなで作る未来へつなぐ～
基本理念	ゆがふむら 本村が昔から大切にしてきた「ゆがふ」という考え方を踏襲しながら、歴史文化や魅力が受け継がれ、ゆとりあるコミュニティの維持を目指します。また、新たな人の流れ等による賑わいを反映し、豊かな暮らしを送ることができるむらづくりを目指します。

### 【今帰仁村第5次総合計画(令和5年3月)テーマ・基本目標・施策】

大項目	中項目	内容(施策の展開)
村の個性を活かした観光振興	自然と歴史をつなぐ観光振興	1)観光振興に向けた環境整備 ①観光ルートの明確化 ②地域交流型の施策展開 2)新たな需要を見据えた観光の活性化 ①新たな観光需要の取り込み ②各種産業との連携 ③誘客・宣伝の強化 3)広域観光の推進 ①北部地域との連携強化・充実

### 【第三次今帰仁村観光リゾート振興計画(平成31年3月)基本理念・基本目標・基本方針・施策】

基本理念	自然と歴史とロマンに満ち躍動するむら
基本目標	1)自然の摂理を学ぶ今帰仁 亜熱帯の海・山・里・島に恵まれた本村の自然を大切にしつつ、これを村民はもとより来訪者とのふれあい交流、学習の場として認識し、大自然の魅力をいかに発揮できるむらづくりに努める。 2)歴史とロマン香る今帰仁 琉球の三山鼎立時代以降、国頭地方を中心地として栄え、今なお「今帰仁上い」の舞台として県民に親しまれている今帰仁村を認識し、そのロマンに満ちた歴史的文化的遺産を広く観光資源として整備・演出し、現在のむらづくりの中で活かしていくことに努める。 3)老いも若きも躍動する今帰仁 観光振興をむらぐるみで支えていくためにも、老若男女だれもが地域のまつり・行事やイベントに参画して楽しむとともに、多彩な地域情報を積極的に発信する等、多くの交流活動・経済活動を通して、村民だれもが生き甲斐ある生活を営めるむらづくりに努める。

方針	施策
①守るべき場所、活性化する場所のゾーニング	①古宇利島及び各ビーチの景観保全 ②村内のゾーニング ③観光地保全・利活用のための財源確保 ④古宇利島の拠点機能の集約化(観光案内所、駐車場) ⑤古宇利島に集中する観光客の分散化を図る周遊ルートの作成 ⑥観光スポットの受入強化
②今帰仁城跡及び周辺集落の魅力の充実	①今帰仁城跡の魅力及び満足度向上のため歴史ストーリーをもたせた案内実施 ②周辺集落の魅力(歴史ロマンを感じさせるストーリー)発掘 ③集落散策の案内PR強化
③自然環境の保全・利活用	①村内自然海岸(ビーチ)の保全 ②村民の浜、乙羽岳森林公園や運動公園等既存施設の活性化
④ルール作りと観光客のマナー喚起活用	①生活空間の保全ルール検討 ②多言語表記によるマナー啓発の看板等設置
⑤効果的な交通サインの設置	①活性化する場所へ誘導するサインの設置
⑥ワンストップサービスの設置	①周遊促進のための村内観光案内サービスを行う観光案内所の設置と観光危機管理
⑦農漁業との連携	①古宇利島の拠点施設整備(飲食、物販機能) ②今帰仁の駅そーれ、リカリカワルミの集客力強化
⑧観光客向けの商品開発と事業者	①お土産品のニーズ動向調査の実施

方針	施策
支援	②村内特産品を使用した商品開発 ③地場産業の事業支援 ④飲食店の創業支援
⑨多様化する観光客の受け入れ強化	①多様化するニーズへの対応 ②外国人観光客の利便性向上
⑩体験事業者の拡大と連携強化	①既存体験事業者のPR強化と新規事業者の誘致 ②体験事業者の情報共有化と連携強化 ③体験滞在型観光の促進
⑪今帰仁村の魅力が伝わる民間主催のイベント支援	①民間の創意工夫を活かした多様なイベント ②村の魅力を活かしたスポーツコンベンション ③今帰仁城跡の歴史を活用したイベント
⑫情報発信の強化	①村内の情報を管理するホームページの充実(飲食情報の充実と連携) ②国内外の観光展示会や商談会の参加 ③観光協会による一括管理した情報発信(継続的なSNS、メディアの活用等)の検討
⑬近隣市町村と連携した外国人観光客対応や観光PR	①多言語表記のマナー啓発による連携 ②広域観光によるPR
⑭広域観光商品の造成	①満足度を高める広域観光ルートの作成
⑮ガイドやリーダーの人材育成	①今帰仁村地域学習の強化 ②地域観光教育による人材育成制度の実施 ③多言語対応の人材育成支援(英語、中国語等)
⑯推進体制の強化	①役場・観光協会・商工会間の情報共有体制・連絡体制の強化 ②各種調査の実施

### 【第三次今帰仁村観光リゾート振興計画(平成31年3月)指標・目標】

指標	基準値(2018年度)	目標値(R5)
観光客満足度調査(古宇利、今帰仁城跡)今帰仁村の満足度(N=321)	「満足」542%	上昇を目指す
住民観光意識調査(N=406) 観光を「好ましい」と感じている	「好ましい」70%	上昇を目指す
ふるさと納税返礼品	39種類 (宿泊券やクーポン券等は除く)	上昇を目指す
修学旅行民泊(受入民家、生徒数)	受入民家 64世帯 生徒数 8400人	上昇を目指す
レジ通過数 (今帰仁城跡、古宇利ふれあい広場、今帰仁の駅それ、リカリカワルミ)	65万人	上昇を目指す
村内ホテルの宿泊者数 (観光協会会員主要ホテル) ※宿泊者数の統計方法は2019年度に検討	—	—

### 【第三次今帰仁村観光リゾート振興計画(平成31年3月)評価等】

#### ※抜粋整理

- ・ 観光協会設立も、運営課題がある。
- ・ 地域の体制づくり、人材育成はほぼ未実施
- ・ 城跡を活かした効果的なイベント開催、情報共有化が必要
- ・ 修学旅行民泊の促進が必要
- ・ 民間体験事業者の促進と農商工連携が必要
- ・ 効果的な看板の設置、周遊ルートが未実施
- ・ 自前の情報発信が脆弱

- メディアを活かした観光スポット創出
- 庁内情報共有化不足と推進体制の明確化が必要

【第三次今帰仁村観光リゾート振興計画(平成 31 年 3 月)課題】

※抜粋整理

観光地づくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然景観の活用と保全</li> <li>・魅力向上</li> <li>・周遊促進</li> <li>・オーバーツーリズム</li> <li>・乱開発の抑制、ゾーニング</li> <li>・経済活性化(飲食店不足、土産品強化、地産地消の体制、道の駅の活用促進、体験型観光の事業展開、効果的なイベント)、雇用創出</li> </ul>
経済効果を促す体制づくりの課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光ニーズ調査の強化</li> <li>・情報発信の強化</li> <li>・高齢者、外国人対応</li> <li>・近隣市町村との連携強化</li> <li>・観光協会の機能強化</li> <li>・人材不足</li> <li>・観光リゾート計画推進体制の明確化</li> </ul>

【第三次今帰仁村観光リゾート振興計画(平成 31 年 3 月)広域連携について(役割)】

組織・機関	役割
行政	観光協会や商工会を中心とした推進体制の補助、財政支援、関係者との情報交換
観光関連団体	観光協会は推進体制の中核として、観光を牽引
関連事業者	商工会は観光協会と推進体制の中核として観光を牽引する。農漁業者は関連団体、観光事業者と連携し農漁業産物の安全・安心の確保し、信頼と満足度を高め、地産地消による経済活性化へつなげる。
村民	今帰仁村の自然や文化に誇りを持つことで、村の観光資源を再認識し、むらづくりへの参画意識を高める。

## ⑥本部町

### 【第4次本部町総合計画(平成28年3月)将来像・基本目標(方針)・施策】

太陽と海と緑—観光文化のまち

基本目標	内容(基本施策)
活力と魅力が融和する元気なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農林水産業の高付加価値化</li> <li>・地域力を活かした観光の高度化</li> <li>・にぎわいと活力あふれる商工業の振興</li> <li>・産業・経済を担う人材の育成</li> </ul>
豊かな自然を活かし共生する住みよいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・豊かな太陽と海と緑の保全と創造</li> <li>・地域特性に応じた都市機能の配置</li> <li>・魅力ある集落空間の創造</li> <li>・交流・流通の活発化を促す交通・情報網の充実</li> <li>・都市の快適性を高める基盤の整備</li> </ul>
あたたかさや安らぎに満ちた癒しのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いきいきと暮らせる健康長寿の推進</li> <li>・障がい者も安心して暮らせる環境づくり</li> <li>・未来を築く元気な子どもの育成</li> <li>・みんなが健康で元気に暮らせる保健・医療の充実</li> <li>・環境保全の推進</li> <li>・快適な生活環境の確保</li> </ul>
「武本部」の精神で、未来を担い、ふるさと愛を育む人づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次代を担う人材の育成</li> <li>・郷土もとぶを愛する人づくり、生涯を通して学ぶ豊かな人間関係</li> <li>・健全な心と身体を育むスポーツ・レクリエーションの推進</li> <li>・地域の誇りある歴史・文化の継承と創造</li> </ul>
強い絆と和を備えた柔軟なまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害に強いまちづくりの推進</li> <li>・支え合いの地域社会の形成</li> <li>・交流と連携による協働のまちづくりの推進</li> </ul>

### 【第4次本部町総合計画(平成28年3月)課題】

- ・ 基幹産業である農業の後継者不足、従事者の高齢化、社会構造の変化、農作物輸入の規制緩和等への対応と安定した農業経営の確立
- ・ 畜産業については生産性向上、後継者育成・確保
- ・ 本町の在来種を利用した「地元ブランド」の創出とブランド化に向けた継続的な取り組み
- ・ 貴重な林野の保全、活用
- ・ カツオを主とした水産業は、経営体数の減少、漁業環境の保全・保護、後継者育成・確保や漁場の安全、観光漁業等の新たな事業展開

### 【第3次本部町観光振興基本計画(令和2年3月)基本理念・基本方針・取り組み・施策】

太陽と海と緑・おもてなしのまち「もとぶが育む観光文化」

目標・方針	重点プロジェクト	内容(基本施策)
①観光の魅力づくり 地域資源を磨き、人材を育て、もとぶの資源の魅力を高める	1. 町民総ぐるみのおもてなしプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もとぶの魅力を満喫できるニューツーリズムの推進</li> <li>・美しい景観や恵まれた自然資源を活かした観光拠点の磨き上げ</li> <li>・観光振興と環境の保全を両立させる持続可能な観光地域の形成</li> </ul>
②プロモーションの推進	2. 海洋博公園と連携したもとぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もとぶ固有の地域資源を活かしたプロモーションの推進</li> </ul>

目標・方針	重点プロジェクト	内容(基本施策)
観光資源がつながるストーリーを展開し、もとぶへの来訪の機会をつくる	ぶ観光のストーリーづくり	・観光情報の発信・広報活動の積極的展開 ・北部広域圏で連携した広報・啓発活動の展開
③受入体制の充実  町民一丸のおもてなしの環境を提供し、もとぶへの滞在の機会をつくる	3. インバウンド歓迎プラン	・町民・民間との協働による魅力的な観光地域づくり ・地域のガイド・リーダー等の観光人材の育成 ・観光客目線で交通・観光案内の提供

### 【第3次本部町観光振興基本計画(令和2年3月)指標・目標】

基本方針	指標	把握方法	基準値	目標値(2030)
①魅力	町を紹介したい人の割合	来訪者・宿泊者アンケート	来訪者 70% 町民 30%	上向き 上向き
②来訪	観光案内所訪問者数	観光協会集計	2827人	4000人/年
③滞在	定員稼働率	観光協会集計	ホテル 51% 民宿・ペンション 21%	55% 25%
④滞在	客室稼働率	観光協会集計	ホテル 69%	70%
⑤リピート	町を目的とする人の割合	来訪者・宿泊者アンケート	7%	10%

### 【第3次本部町観光振興基本計画(令和2年3月)評価等】

※第2次計画の検証について抜粋

- ・ 主に交付金を活用し、商品開発、イベント等を実施している
- ・ 関係機関が連携した取り組みや財源確保に課題がある

### 【第3次本部町観光振興基本計画(令和2年3月)課題】

- ・ 観光資源が活かされていない  
→ 町民全体のおもてなし力の向上(「観光文化のまち」として町民一丸となった観光振興)
- ・ 増加・多様化する観光客への対応(インバウンド対応、広域連携等)  
→ 地域の観光資源を活かしたプロモーション(観光資源の磨き上げ、効果的発信)
- ・ 地域産業の競争力の弱さ  
→ 美ら海水族館を持つ優位性を最大限に活かす(町内への滞在促進のため、水族館の知名度・集客力を活かし観光振興に取り組む)
- ・ インバウンド等に対応した受け入れ環境・広域連携の強化(持続可能な観光地形成のため)

### 【第3次本部町観光振興基本計画(令和2年3月)広域連携について(役割)】

組織・機関	役割
行政	総合的調整役、魅力発信、観光資源創出、基盤整備、国・県・近隣市町村連携による広域的取り組み、国・県事業の促進要請
観光関連団体	各団体の特性を活かしながら、観光資源の魅力づくり、プロモーション、観光地域づくり、誘客、地域経済の活性化をはかる。観光協会は自主財源の確保、関係者協働による観光振興の体制やしきみづくりの推進。統計データ等からもとぶ観光の動向を把握し効果的な取り組みを推進
関連事業者	各事業領域での観光振興、町屋観光関連団体、町民等と連携し、誘客、魅力の伝達・向上に取り組む
村民	もとぶの歴史や文化、観光資源等の魅力により地域愛と誇りを感じ、観光客へ伝える。観光客が訪れたいくなるような地域づくりを目指す取り組みやボランティアとして観光客と積極的に交流する

## ⑦恩納村

### 【恩納村第6次総合計画 恩納村第2期総合戦略(令和5年3月)テーマ・基本理念(村民憲章)】

テーマ	恩(めぐみ)の青豊かな緑輝く人々 未来へつなごう恩納村
村民憲章	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然を愛し、自ら美しい村をつくります。</li> <li>2. 人間を尊び、愛情豊かな村をつくります。</li> <li>3. きまりを守り、明るい村をつくります。</li> <li>4. 伸びゆく力を育て、活力ある村をつくります。</li> <li>5. 心と身体をきたえ、健康な村をつくります。</li> </ol>

### 【恩納村第6次総合計画 恩納村第2期総合戦略(令和5年3月)テーマ・基本目標・施策】

基本目標	大項目	内容(施策の展開)
4【産業・経済】 恩納ブランドをいかした活力と魅力ある産業の村	4-3 商工業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業・小規模企業等 活動の活性化支援 活動の活性化支援</li> <li>・恩納ブランドの促進</li> <li>・観光関連業との連携強化 関連業との連携強化 関連業との連携強化</li> </ul>
	4-4 観光業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源の保全と活用の観光振興</li> <li>・安全・安心で快適な観光地形成</li> <li>・観光プロモーションの強化と人材育成</li> </ul>

### 【恩納村第3次観光振興計画(平成29年3月)基本理念・将来像・基本方針】

基本理念・将来像	・風と光が流れ 時を忘れる村 恩納村
基本方針 (基本的考え方と基本目標)	・自然との共生、持続可能な地域経済の確保による豊かな村民生活の実現、観光客の満足度の向上
(1)豊かな地域資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本村の豊かな自然資源、国頭方西海道※1や山田グスク※2をはじめ各地域に伝わる歴史文化資源を活かした観光産業の振興に取り組む。</li> <li>・地域資源を活かした特産品の開発や恩納ブランドの創設、農水産物の地産地消の推進、多様化する旅行者ニーズに即したニューツーリズム※3の推進等により、各種観光関連産業との連携強化を図り地域産業の活性化につなげる。</li> </ul>
(2)誰もが安全・安心で快適に過ごせる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客に安全・安心で快適に過ごしてもらえるよう、市場のグローバル化への対応を行うとともに、観光インフラの整備、ユニバーサルデザインの推進、国道58号沿道等での観光交流拠点づくりに取り組む。</li> <li>・世界有数のリゾート地にふさわしい景観の形成を図るとともに、道路等の環境美化や旅行環境の整備を図るための協力金の徴収や緊急時対応の強化について検討を行う。</li> </ul>
(3)観光PRの強化及び人材育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化情報センターや博物館、インターネット、観光案内冊子、電子看板(デジタルサイネージ)の活用等、多様な情報媒体を活用した情報発信を図るとともに、旅行博等への出展や観光大使の活用等によるプロモーション活動の強化に取り組む。</li> <li>・観光協会等による観光推進体制の充実を図るとともに、観光産業に関わる人材の育成、自らの地域について学ぶふるさと学習や村民を対象とした観光について学ぶ場の提供を行い、村民の『うとしいむち(おもてなし)』の心の醸成に取り組み、村が一体となった観光振興を図る。</li> </ul>

### 【恩納村第3次観光振興計画(平成29年3月)取り組み・施策】

方針	施策
1)豊かな地域資源の活用	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)地域資源を活用した新たな観光メニューの開発</li> <li>(2)リゾートウェディングの推進</li> <li>(3)自然資源や歴史文化資源等を活用した周遊マップ等の整備</li> <li>(4)地域資源を活用したメニューや特産品の開発及び恩納ブランドの創設</li> <li>(5)各種イベントの開催</li> <li>(6)域内調達率の向上及び販路拡大</li> </ol>
2)誰もが安全・安心で快適に過ごせる環境づくり	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1)観光インフラの整備</li> <li>(2)観光リゾート地にふさわしい景観の形成</li> <li>(3)環境の保全及び育成</li> <li>(4)観光施設等における危機管理体制の整備</li> <li>(5)誰にでも優しい観光リゾート地の形成</li> </ol>

方針	施策
	(6)スポーツ合宿の誘致
3)観光PRの強化及び人材育成	(1)効果的なPRの推進とプロモーションの拡充 (2)情報提供機能の強化 (3)観光大使やサンゴ大使の任命 (4)観光産業に関わる人材の確保及び育成 (5)村民を対象としたふるさと学習や観光教育の推進

### 【恩納村第3次観光振興計画(平成29年3月)指標と目標値】

指標	基準値	目標値(R6)
宿泊者数(延べ)	2569千人(平成27年)	3000千人 (現況値の12倍)
体験学習利用者数	平成26年度:71,090人 平成27年度:68,507人	平成26年度:71,090人 平成27年度:68,507人
おんなの駅なかゆくい市場 来客者数	平成26年:943,088人 平成27年:1,111,422人 平成28年:1,234,593人	1,480,000人 (現況値の12倍)
文化情報センター (来場者数)	平成27年度:68,464人 平成28年度:75,742人 平成28年度予測値:82,620人 ※(平成28年度は平成28年4月 ～平成29年2月の合計)	99,000人 (現況値の12倍)
恩納海浜公園ナビビーチ	平成26年度:25,446人 平成27年度:28,840人 平成28年度:33,855人 平成28年度予測値:34,468人 ※(平成28年度は平成28年4月 ～平成29年2月の合計)	41,000人 (現況値の12倍)

### 【恩納村第3次観光振興計画(平成29年3月)評価等】

※「計画の実施状況、課題及び今後の方向性」より抜粋整理

環境保全・育成、景観形成	赤土流出防止対策の強化、ダイビングの安全利用体制の構築、沿道景観向上、集落景観形成
交通の利便性向上	自動車を利用しない村内移動の利便性の向上
受入基盤の整備	レクリエーションやエンターテイメントを提供する施設等を活用しての体験学習メニューの提供、イベント開催等、ユニバーサルツーリズムに対応した観光地づくり
交流受入体制の整備	リゾートホテルでの職場体験の受入や県の人材育成プログラムの活用、観光案内ボランティアの育成、修学旅行の受入体制強化
地場産業と観光の連携	村内生産物の活用と安定供給のための計画的な生産体制の構築、また商品の認知度の向上、地域イメージの確立も必要
健康・長寿ニーズへの対応	有機栽培の推進等による村産の農水産物や健康に配慮した特産物開発による健康・長寿イメージの向上が必要／大学院大学との連携
観光客利便性の向上	ミールクーポン、マリンアクティビティの管理システム構築等
にぎわいの創出	なかゆくい市場のさらなる活用等
他	観光振興推進体制の確立、計画的推進システムの確立、住民参加の促進、状発信・誘客宣伝活動

### 【恩納村第3次観光振興計画(平成29年3月)課題】

立地特性からの課題	・自然海岸や森林、夕日等の自然及びリゾート地域にふさわしい景観形成 ・漂着ゴミ、道路の植栽マスの雑草、ポイ捨てへの対応と維持管理のための財源確保 ・公共交通機関の利用が不便なため、主要施設を経由する周遊バス等
観光資源からの課題	・第1次産業との連携による村民所得向上 ・地域資源を活用した特産品及び体験メニュー等の開発 ・観光に対する村民の理解の必要性(おもてなし意識の向上)
沖縄観光からの課題	・観光を担う人材の確保・育成

	・安全・安心な観光地の形成(防災訓練、ダイビングショップへの認証制度等) ・誰もが旅行を楽しめる環境づくり(ユニバーサルデザイン化等)
--	--

【恩納村第3次観光振興計画(平成29年3月)広域連携について】

- ・ 沖縄本島北部の一つであり、やんばるのゲートウェイに位置することから、その役割の認識のもと、各種観光振興施策の展開を図ることとする。



## ⑧宜野座村

### 【第5次宜野座村総合計画後期基本計画 2021(令和3)年度-2025(令和7)年度 テーマ・基本目標・施策】

水と緑と太陽の里・宜野座村 かけがえのない豊かで美しい環境を守り・活かす

基本目標	重点戦略	内容(基本施策)
子どもたちの笑顔があふれ文化を育み時代を担う“人づくり”	1. 地域特性を活かした魅力づくり、産業づくり 2. 安心して子どもを産み育て、心身ともに健やかに暮らせるむらづくり 3. 共生・協働のむらづくりの推進	・子育て支援の充実 ・魅力ある幼児・学校教育の推進 ・生涯スポーツ・生涯学習の推進 ・地域文化の継承と文化活動の振興 ・国内外の交流活動の推進
生涯健やかで地域で支え合う“健康と地域福祉づくり”		・地域福祉の推進 ・生涯にわたる健康づくりの推進 ・高齢者福祉の推進 他
自然と共生した環境にやさしい“循環型社会づくり”		・自然環境の保全・活用と地球温暖化対策の推進 ・魅力的な個性のあるまちなみ・景観の形成 ・魅力ある公園緑地や水と親しむ空間の整備 他
安心・安全で快適な“環境基盤づくり”		・地域に根差した農業の振興 ・新たな水産業の推進 ・地域特性を活かした観光・商工業の振興 他
知恵と力を結集してみんなでつくる“むらづくり”		・地域防災及び消防・救急体制の充実 ・道路・交通基盤の整備・充実 ・上下水道の充実及び農業集落排水事業の推進 他

### 【宜野座村観光振興計画(令和4年3月)取り組み・施策】

基本理念	水と緑と太陽の里・宜野座村
将来像	観光の将来像:水と緑と太陽の里で、訪れる方も、住む村民もともにハッピーに住んでヨシ訪れてヨシのむらづくり

### 【宜野座村観光振興計画(令和4年3月)取り組み・施策】

方針	施策
宜野座村の魅力掘り起こしと推進	・地域の魅力づくり
魅力を伝えるプロモーション	・広報活動 ・情報発信の強化
村民が積極的に参加できる観光地づくり	・表現の場や来村者の交流の場づくり ・村民が主役となる取り組み ・商工業の活性化サポート及び観光事業への運動化
推進体制の強化	・観光推進体制の強化 ・広域連携
人材育成	・観光人材の育成強化 ・学校教育との連携
昔ながらの自然・文化を守りながらの観光振興	・地域文化の継承 ・自然環境保全
安心して関われる、安全な観光地づくり	・安全で清潔な観光地づくり ・安全で安心な制度づくり ・外国人観光客の受入対応

### 【宜野座村観光振興計画(令和4年3月)指標・目標】

項目	指標	把握方法	基準値(R2)	目標値
村民	住みやすさ	村民アンケート	85.9%	88%
	観光の観点からの満足度村及び村民の活気	村民アンケート	63.5%	70%

項目	指標	把握方法	基準値(R2)	目標値
観光客	満足度	観光客アンケート 道の駅、宿泊施設等	-	70%
	地元の人々の雰囲気	観光客アンケート 道の駅、宿泊施設等	57.0% 良い・感動した	70% 良い・感動した
	推薦度(NPS)	観光客アンケート 道の駅、宿泊施設等	24.9pt	30pt
経済効果	事業者の経済効果実感度	事業者アンケート調査	-	40%
	入込客数	統計調査 道の駅、宿泊施設等	890,262 人	1,000,000 人
	一人当たり観光消費額	観光客アンケート調査(単 価)統計調査	-	日帰り 2,000 円 観光消費額 12 億円
環境配慮・管理	村民一人あたりの 1 日のごみ 排出量	金地区消防衛生組合より	921g	845g
	海域における赤土堆積量ランク	県環境部環境保全課 赤土等堆積状況調査	サンゴ場C	サンゴ場A

#### 【宜野座村観光振興計画(令和4年3月)評価等】

- ・ 認知度向上のための情報発信等、広報を強化した。
- ・ 環境保全を優先とした持続可能な観光のため、赤土流出抑制・削減の取り組み、景観村づくりを推進した。
- ・ 宿泊及び飲食店等の誘致・活性化について、道の駅ぎのぎへの店舗誘致し、村民が選ぶ村内店舗のおすすめグルメ投票を実施した。
- ・ 地域全体が連携・参加する取り組みの推進のため、道の駅ぎのぎの直売所を中心に、農家直送の農作物等を販売した。

#### 【宜野座村観光振興計画(令和4年3月)課題】

- ・ 通過地点で目的地となっていない
- ・ 点としての取り組みで線の連携となっていない。(イベントや施設間波及の仕組み)
- ・ 地域の自然、環境を守ることを優先にした観光振興
- ・ 宿泊施設が少ない
- ・ 宜野座といえば！という独自の観光メニュー、土産品等が少ない
- ・ アフターコロナ、ウィズコロナに対する準備・対応
- ・ 道の駅ぎのぎの駐車場が少ない
- ・ 観光事業に参加する事業者や村民を増やしたい。
- ・ 西海岸に比べ、観光振興が遅れている東海岸の魅力づくりや仕組みづくり。(近隣の金武町やうるま市、名護市とも連携した議論や戦略が求められる ※東海岸サンライズベルト構想等広域連携による取り組みを継続する)
- ・ 日本版 DMO・広域 DMO により、稼げる観光地域づくりの視点での取り組み
- ・ 観光客の視点に立った(外国人含)看板や標識、施設づくり

【宜野座村観光振興計画(令和4年3月)広域連携について】

※行政と村民の役割

組織・機関	役割
行政	役場内、区、関連団体、観光関連事業者、村民との連携による観光振興、情報発信、インフラ整備、文化財保全活用、学校教育関連事業の推進等
観光関連団体	観光プログラムの運営、情報発信、産業間調整機能、マーケティング等
観光関連事業者	観光事業の推進、地域の魅力向上、経済活性化、人材育成等
村民	村が目指す観光振興に積極的に参加し連携、村の歴史や文化、自然等に誇りを持ち、その保全や継承に積極的に取り組む

## ⑨金武町

【第5次金武町総合計画 前期基本計画平成28年度～平成32年度(平成28年3月)

将来像・基本目標・関連施策】

### ※抜粋

将来像	みんなで築く 夢と希望がもてるまち
基本目標5 活気あふれる産業のまちづくり	
施策IV	観光業の振興 歴史的文化遺産や豊かな自然環境を生かした魅力ある観光地の形成を目指し、多様なニーズに対応した観光の振興を促進する。 1観光資源の活用・開発 2観光基盤の整備 3観光内容の充実 4受入体制の拡充

### 【金武町観光振興基本計画(令和2年3月)基本理念・基本方針】

基本理念	みんなで築く金武町らしい世界水準の観光のまち
基本方針	「金武町らしい世界水準」の目指す方向性 ①金武町が有する豊かな自然環境の保護・保全を図りながら、これらの活用による経済発展を目指した持続可能な化案きょう共生型の観光振興 ②医療施設・温泉・スポーツ施設・ホテルの集積を生かしたウェルネスツーリズム×スポーツコンベンションによる観光振興 ③戦前・戦後の歴史から培われた文化・歴史資源の活用による観光振興

### 【金武町観光振興基本計画(令和2年3月)取り組み・施策】

「金武町らしい世界水準」を達成するための基盤整備

方針	施策	内容
施策Ⅰ	持続可能な観光地形成に関する取り組み	
施策Ⅱ	観光地としての受入れ環境・機能の充実	(1)拠点エリア・施設の受入れ環境・機能の充実 ①観光物産交流センター整備寄る受入環境・機能の充実 ②商店街・社交街の受入れ環境整備 (2)観光動線及び二次交通の充実 ①観光案内サイン(多言語表記)の整備 ②二次交通の充実 (3)観光客の安全・安心に関する取り組み実施
施策Ⅲ	観光関連事業者への支援拡大、観光人材の育成	(1)観光関連事業者の事業拡大・企業の支援 ①事業拡大・労働生産性事項上に向けた取り組みに関する支援の充実 ②観光関連事業の起業支援 ③特産品・土産品開発の支援 (2)観光人材の育成・支援 ①観光関連産業に関する人材育成 ②観光関連就業希望者への支援・サポート
施策Ⅳ	観光推進体制の構築	(1)観光地形成組織の検討・立ち上げ (2)重要評価指標及び管理手法の構築 (3)観光地経営のための自主財源の確保
施策Ⅴ	金武町の観光地ブランド形成に関する施策	(1)金武町の観光地ブランドの構築 (2)観光地ブランドPRツールの充実 (3)観光地プロモーションの実施(県内・県外・海外)

方針	施策	内容
		(4)インターネット利用環境の整備・充実
施策VI	観光資源の活用による受け入れ拡大	(1)スポーツコンベンションの受入分野の多様化 (2)ウェルネスツーリズムに関するプログラム充実 (3)体験プログラムの充実 (4)周遊ルートの作成及び観光ガイドの育成 (5)観光資源の保存・活用に関する支援 (6)“おもてなし意識”向上プログラムの実施
施策VII	連携機能の強化	(1)広域連携機能の強化 (2)産学官連携機能の強化

【金武町観光振興基本計画(令和2年3月)指標・目標】

評価指標		2018年度	2030年度
①	宿泊者数	41千人	173千人泊
②	入域観光客数	432千人	539千人

【第5次金武町総合計画 前期基本計画平成28年度～平成32年度(平成28年3月)指標・目標】

※下表は総合計画「施策IV 観光業の振興」より抜粋整理

基本方針	指標	把握方法	基準値(H26)	目標値(H32)
・豊かな自然環境を生かした観光地の形成を目指し、体験型観光の振興を図る。 ・独自の魅力ある観光地の形成に向け、賑わい創出、各種イベント等の取り組みや「ネイチャーみらい館」の運営充実を図る。	ネイチャーみらい館 利用者数	-	60,000人	100,000人

【金武町観光振興基本計画(令和2年3月)評価等】

(1)金武町の観光地としての今後の可能性

■ 金武町の観光地としての今後の発展可能性

ハード面	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 交通利便性(那覇市から1時間、町内に屋嘉IC・金武ICあり、伊芸サービスエリア)</li> <li>◆ 民泊や体験観光拠点施設のネイチャーみらい館</li> <li>◆ 観光医療施設とスポーツ施設</li> <li>◆ 温泉・ホテルの複合施設の開発</li> <li>◆ ホテル・商業施設・マンションの開発</li> <li>◆ 観光物産交流センター整備の計画</li> <li>◆ 北部の東海岸の入り口</li> </ul>
ソフト面	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ うるま市、宜野座村との環金武湾の連携</li> <li>◆ 郷土の偉人・當山久三がはじめて沖縄から海外へ移民を送り出しており、現在もその歴史遺産を継承し、海外移民との交流が活発に行われている。</li> <li>◆ 戦後は、米軍基地のキャンプ・ハンセンを抱え、新開地を中心にエキゾチックな雰囲気醸成し出し、町内には異国の存在を意識させる生活文化環境が存在する。</li> <li>◆ 若い世代への英語教育、ホームステイ等の国際的な人材育成を進めている。</li> <li>◆ キャンプ・ハンセン、海外移住国を含めた様々な国際交流を行っている。</li> <li>◆ 町民には寛容性があり、世界から観光客を迎え入れる「ホスピタリティー」の基盤がある。</li> <li>◆ 新取の気象<sup>7</sup>と不撓不屈<sup>8</sup>の精神を礎にした「金武魂」</li> <li>◆ 豊かな水と自然(田園風景含む)</li> <li>◆ 異国情緒ある街並み(新開地)</li> <li>◆ 地域に根ざした商店街、事業所</li> <li>◆ 田芋を活用した食</li> <li>◆ タコライス発祥の地</li> </ul>

(2)「世界水準の観光リゾート地」の形成に関する金武町の役割

- ウェルネスツーリズム×スポーツコンベンションによる観光振興
- 戦前・戦後の歴史から培われた文化・歴史資源の活用による観光振興

【金武町観光振興基本計画(令和2年3月)課題】

※観光振興計画に明確に整理されていないため総合計画「施策IV 観光業の振興」より抜粋整理

「これまでの振り返りと課題」から

- 自然環境を体験するエコツーリズムや体験学習型・参加型の観光が増加しており、金武町においても修学旅行団による億首川のマングローブや干潟、野鳥の観察及びカヌー体験等が盛んになっている。
- 人工海浜が整備されており、これらを含めて将来的には金武湾における海洋性観光リゾート振興事業を展開していく可能性が考えられる。
- 地域医療施設やスポーツ施設等の整備が行われており、医療・スポーツツーリズムの展開が必要である。
- 金武町の自然を生かした魅力ある観光リゾート拠点地区の形成をめざし、町内の様々な観光資源の発掘・充実及び施設のネットワークを形成し、観光産業の一層の振興を促進することが課題となっている。

【金武町観光振興基本計画(令和2年3月)広域連携について】

- 沖縄県北部観光客は年々増加傾向にある一方、観光産業の労働生産性向上、観光産業従事者不足、観光人材育成、外国人観光客の対応等について同様の課題に直面している。
- 特に同一の観光客を相手にする可能性の高い近隣市町村で、共通して取り組むことでメリットがあると考えられる分野(観光人材育成、インバウンド対応等)については、行政エリアの垣根を超え、行政職員間の交流のみでなく、観光関連事業者等も含めた交流ができるよう仕組みを構築する。

## ⑩伊江村

### 【伊江村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(平成 28 年 3 月)基本理念・テーマ】

「誰もが未来に希望を持てる魅力ある伊江村～暮らしてみたい・行ってみたい伊江島～」
--

### 【伊江村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(平成 28 年 3 月)基本目標・施策】

将来の方向1	働きがいのある仕事の創出や定住支援等により伊江村に新しい人の流れをつくる
将来の方向2	出会い・結婚・出産・子育ての希望を叶える

目標	基本的方向	施策
基本目標1:働きがいのある仕事の創出(産業・雇用)	・地場産業の振興による伊江島ブランドの構築 ・企業誘致や起業化支援による就業機会の確保	農業振興、漁業振興、商工業振興  企業誘致や起業化支援、若者や女性の雇用環境の整備
基本目標2:伊江村に人の流れをつくる(交流・定住)	・地域資源を活用した観光による交流の推進 ・移住・定住希望者の受入体制の推進	観光振興による交流の推進 持続可能な観光地づくりの推進 移住・定住希望者への支援
基本目標3:安心・安全な暮らしを支える地域づくり(住環境・医療保健)	・人と地域をつなぐ村づくり  ・医療・保健体制の充実	安全・安心な生活環境の確保、生活交通の利便性の向上 地域医療の充実 保健サービスの提供強化
基本目標4:出会い・結婚・出産・子育ての希望を叶える(子育て支援・教育)	・結婚・出産・子育て視点の充実  ・子どもが健やかに学べる環境の整備	出会いから結婚・出産までの支援 子育て世帯の支援 “15歳の島立ち”のための「生きる力」の育成

### 【伊江村観光振興基本計画(平成 30 年 3 月)基本理念】

思い出が咲き誇る島伊江においてよ！	※伊江島での旅を通して、圧倒的な非日常体験や成長体験、人々との交流の中で育まれる経験等記憶に残る体験を楽しんでもらいたい。村民の「家」である伊江島に旅行者を招き入れる気持ちで迎える。
基本理念1.	旅を通じて人生を豊かにする学び・成長のきっかけを提供する。
基本理念2.	時を越えて受け継がれてきた暮らしの魅力を伝える。
基本理念3.	五感に染み渡る体験を提供する。
基本理念4.	写真だけでは伝わらない暖かな記憶のお土産を提供する。
基本理念5.	日常を離れて心がゆるむ、くつろぎの時間を提供する。

### 【伊江村観光振興基本計画(平成 30 年 3 月)基本方針】

※「観光振興におけるポイント」を抜粋

- ・ 真夏・真冬の需要を呼び起こすことによる通年での旅行者受入の推進
- ・ 教育旅行の動向や民泊の法改正等を踏まえた、教育旅行の維持・強化
- ・ 北部地域来訪者の伊江村への引き込み
- ・ 機能強化される公共施設を活かした新たな旅行者の取り込み

### 【伊江村観光振興基本計画(平成 30 年 3 月)取り組み・施策】

観光のプロセス	分野	施策
観光メニュー(体験)	文化・歴史	・新しい視点で楽しむ伝統芸能 ・村民の日常は旅行者の非日常！ローカル文化観光 ・心と身体で体感する歴史・平和学習

観光のプロセス	分野	施策
	学び	・学びの充実感と達成感を味わう次世代教育旅行 ・じっくりと島の文化と自然を学ぶ短期島留学 ・自然とともに暮らす充実感を味わうワークツーリズム
	フラワー	・いつでもどこでも花を楽しめる島 ・五感のすべてで花の魅力を堪能できる島
	スポーツ	・村民総出で支えるスポーツ合宿・大会 ・伊江島ならではの楽しみがいっぱい！観光スポーツ
	アウトドア	・お手軽・お気楽なのに本格派！？ふらっとアウトドア ・生きる知恵と技術が満載！サバイバルアウトドア
	フード(食)	・島民に愛された郷土のごちそうが食べられる島 ・思い出に残る唯一無二の食体験
環境整備	受け入れ環境	・五感と記憶にうたえる空間演出
広報		・記憶と結びつく情報戦略(事前情報発信と事後情報発信)
案内		・かゆいところに手が届く島案内
移動		・島の風を感じながら手軽に島を巡れる乗り物づくり ・移動のストレスを軽くする島へのアクセス強化
土産物開発		・ついつい手に取りたくなるお土産開発
滞在		・離島の特別感に浸れる滞在環境演出

### 【伊江村観光振興基本計画(平成30年3月)指標・目標】

- ・ 年間約13万人→年間18万人の旅行者を迎え入れる。
- ・ 弱みである真夏・真冬の新たなサービス提供、スポーツを中心とした団体旅行誘致による新規需要開拓
- ・ 本村の文化や自然環境を活かしながら、集客力のあるイベントや修学旅行生の民泊体験泊の魅力強化と深みのある観光地づくりを行う

指標(旅行形態)	基準値	目標値(2025年)
イベント来訪者 ゆり祭り、マラソン大会の集客維持 県レベルのスポーツ大会の誘致 閑散期のキャンペーン展開	約32,500人	40,000人
修学旅行 民泊体験泊による修学旅行の維持 10月～12月のピーク時を除く期間のメニュー開発と2～3泊化	約43,500人	50,000人
合宿旅行 夏季・冬季のスポーツ合宿等の誘致 学習合宿の誘致	—	10,000人
一般旅行 より多くの旅行者に知ってもらえるような広報戦略による旅行者増を目指す	約54,000人	80,000人
計	約13万人	18万人

### ※参考【伊江村まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略(平成28年3月)指標・目標】

基本目標・指標(KPI)	基準値	目標値
村内事業所数	302事業所	307事業所
村内の入域観光客数	139,000人	150,000人
年間転入者数	220人	255人
伊江村に住み続けたいと感じる人の割合	74.8%	80.0%
合計特殊出生率	1.90	2.05
1年間の婚姻数	20組	24組
年間農業生産額	3,843,994千円	3,960,000千円
認定農業者数	74人	80人
年間漁獲額	328,190千円	350,000千円
農水産業の新規就業者数		12人以上
農水産物の新規商品開発数		3品目以上



基本目標・指標(KPI)	基準値	目標値
「タッチゆん」キャラクターを活用した商品数	2品	5年で10品以上
企業誘致件数		5年で1件以上
新規創業件数		5年で5件以上
新たに実施する夏場のイベントによる観光入域客数		1,000人
誘致したスポーツ合宿団体数		5年で5団体

#### 【伊江村観光振興基本計画(平成30年3月)評価等】

※特に記載なし

#### 【伊江村観光振興基本計画(平成30年3月)課題】

- ・ 島へのアクセス環境の改善
- ・ 観光振興のための取り組みへの村民参加のしくみづくり
- ・ 旅行者の実態把握
- ・ アクションプランにおける重点テーマ
  - 1 真夏・真冬の観光需要創出:学び、スポーツによる観光振興
  - 2 教育旅行に新しい価値を提供する:次世代の修学旅行需要への対応
  - 3 より多くの人に伊江の魅力を伝える:ショートステイ旅行者の誘致

#### 【伊江村観光振興基本計画(平成30年3月)広域連携について】

※特に記載なし

## ⑪伊平屋村

【第5次伊平屋村総合計画 第2期伊平屋村総合戦略(2023(令和5)年1月)テーマ・基本目標・基本施策】

「輝く里山・里海 笑顔あふれる島人～原風景と幸せが満ちた島 いへや」

※基本理念、基本方針は下表に踏襲

基本目標	基本施策
村の未来は、教育がつくる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育・幼児教育・学校教育の取り組み推進</li> <li>・子どもたちの安心・安全な居場所づくり及び地域との連携による学習環境の整備</li> <li>・生涯学習の充実及び社会教育の推進、各種交流事業の促進</li> <li>・文化施設(村歴史民俗資料館)の充実と歴史民俗資料等の保存・活用</li> <li>・文化芸術活動の推進</li> </ul>
女性と子どもが大切にされ、すべての住民が安心して暮らす島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性がくらしやすい島づくりの推進</li> <li>・安心して子どもを産むことができる環境の整備</li> <li>・地域医療体制の充実</li> <li>・子どもの貧困対策</li> <li>・障がい者(児)が安心して生活できる環境の整備</li> <li>・高齢者が安心して生活できる環境の整備</li> <li>・健康づくりと生きがいづくりの推進</li> <li>・みんなで作る地域共生社会</li> <li>・安全・安心で強靱なしまづくり</li> </ul>
里山・里海を活かした産業が息づく島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・村内産業の活性化に向けた仕組みづくり</li> <li>・農林水産業の事業化の推進</li> <li>・農林水産業の新たな担い手の確保と先進化</li> <li>・環境共生型農林水産業の推進</li> <li>・体験型観光コンテンツの充実による観光交流産業の推進</li> <li>・島のランドデザインにふさわしい観光の促進</li> <li>・離島らしい環境に配慮した観光インフラの整備</li> </ul>
安全安心、快適な暮らしを支えるしまづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の整備</li> <li>・生活環境の整備</li> <li>・住宅の整備</li> <li>・公園・広場の整備</li> <li>・情報通信基盤の整備</li> </ul>
豊かな自然と歩み続ける島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境の保全と活用、そして継承</li> <li>・持続可能な循環型社会の構築</li> <li>・美しい景観の形成</li> <li>・ゾーニング(土地利用区分明確化)の推進</li> </ul>
共創・協働のむらづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共創・協働によるむらづくりの推進</li> <li>・地域の縮小から縮充へ</li> <li>・女性が輝き、若者が活躍するしまづくり</li> <li>・行財政の健全化</li> <li>・情報発信力の強化</li> <li>・誰一人取り残さない持続可能な美ら島いへやの実現</li> <li>・先進技術の導入によるむらづくり</li> <li>・区民活動の活性化</li> </ul>

【第4次伊平屋村観光振興計画 2023-2032 基本理念】

島の価値を守り育む観光

## 【第4次伊平屋村観光振興計画 2023-2032 取り組み・施策】

※将来像及び基本方針は下表に踏襲

方針・基本戦略	施策	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕組みや体制の確立・実践</li> <li>・島の姿を維持するための仕組みを持つ</li> <li>・共創・協働のむらづくり</li> </ul>	島民の生活が豊かになる観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島への思いを持つ関係人口創出に注力する</li> <li>・里山・里海を活かした産業が息づく島</li> </ul>
	島の自然環境を守り改善する観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島の自然環境と集落景観を観光により守る</li> <li>・豊かな自然と歩み続ける島</li> </ul>
	島の文化資源を維持・発展させる観光	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島民の営みを守り育てる</li> <li>・村の未来は、教育がつくる</li> <li>・女性と子どもが大切にされ、すべての住民が安心して暮らす島</li> <li>・安全安心、快適な暮らしを支えるしまづくり</li> </ul>

施策
経済分野
ア. 今あるものをもっと沢山売る 生活文化体験プログラム、アクセス向上、飲食環境、体験学習
イ. 今あるものをもっと高く売る(利益率をあげる) 食材の島内調達率の向上、宿泊・飲食の連携強化、民泊の資質向上
ウ. 新しく売れるものをつくる 新規事業・創業支援、島外事業者の誘致活動による雇用機会創出、食の魅力創出を担う人材育成とメニュー開発等
環境分野
ア. 環境を守る・育てる 自然保護活動、花いっぱい運動、星空保護区の環境整備、自然環境適正利用マニュアル、環境モニタリング
イ. 環境を活かす 「原風景らしさ」の明確化とブランディング、自然体験プログラム等
社会文化分野
ア. 歴史・文化を守る・継承する 集落・屋敷周囲の石垣保存等、景観保全、伊平屋学の推進、島コンシェルジュ養成・活用等
イ. 歴史・文化を活用する 案内板・説明版の充実、文化継承と観光活用の推進、文化芸術活動を通じた世代間交流や異文化交流

## 【第4次伊平屋村観光振興計画 2023-2032 指標・目標】

指標	把握方法	基準値(R4)	目標値(R13)
観光行政に対する村民の評価	村民アンケート ※観光施策への評価	323%	500%
観光消費額	観光客アンケート	消費額単価 32681 円/人 入込客数 13409 人 → 438,219,529 円(43 億円)	消費額単価 35000 円/人 入込客数 15000 人 → 53 億円
環境保全事業への執行額	環境協力税 ※今後CO2効果、サンゴ礁の復活程度に置き換えることを想定	2424 千円	増加
「島への誇りが高まる」と回答する村民の割合	村民アンケート ※観光客との交流による島の文化の再認識機会創出を想定	252%	上昇

※参考 【第5次伊平屋村総合計画 第2期伊平屋村総合戦略(2023(令和5)年1月)指標・指標内容・目標値】

## 産業 KPI(目標 里山・里海を活用した産業が息づく島)

指標	指標内容	現状	目標値(R8 年度)
村産業経済活性化協議会	協議会の開催数	—	3 回
ワーケーション	ワーケーションの受入人数	—	30 人
起業件数	女性、若者、島外の方々による起業件数	—	10 件
商品開発	商品開発や販売強化の支援・補助件数	—	5 件
担い手確保	農林水産業の新たな担い手の人数	—	10 名
観光コンテンツ	新規観光コンテンツの件数	—	5 件
観光客数	入域観光客数	13,409 人	15,000 人

### 【第 4 次伊平屋村観光振興計画 2023-2032 評価等】

※抜粋 観光客からの評価

- ・ 原風景の満足度が高い
- ・ 飲食店の質が高い
- ・ 土産品等商品開発の結果が出ていない
- ・ 村民との交流が低い
- ・ wi-fi サービスの改善

### 【第 4 次伊平屋村観光振興計画 2023-2032 課題】

- ・ 感染症による様々な変化への対応:with/after コロナ及び今後も起こりうる自然災害や社会情勢の変化等が委員による産業の停滞に対する観光危機管理やBCP(事業継続計画)の視点
- ・ 来訪者との関係構築:定住人口の代替としての「交流人口・関係人口」の確保、観光振興による賑わい創出や観光客から移住者につながる事等への期待
- ・ 自然環境・景観・島の営みを守る観光のあり方の模索:本村の一貫した価値観である「原風景の維持」と、価値を享受した観光客がその維持のために自らの労力やお金の投資ができる仕組みの検討、6 次産業化の推進、体験型交流の深化、観光コンテンツを進めた関係構築とファンづくり
- ・ 仕組みの構築:一般住民を含む島の多様な主体による計画の策定から運用・評価に至る共有協議の実施のため、村が一体となった仕組みの構築が必要。

### 【第 4 次伊平屋村観光振興計画 2023-2032 広域連携について】

※特に記載なし

## ⑫伊是名村

### 【第5次伊是名村総合計画 第2期伊是名村総合戦略 2022(令和4)年3月 テーマ・基本目標・施策】

「自然と歴史、人が輝くときわのしま・いぜな」

※基本理念・基本方針は下表に踏襲

基本目標	項目	内容
世代をこえて学び、誇りを育むしまづくり	幼児教育の充実 学校教育の充実 家庭教育・地域教育の推進 社会教育・生涯学習の充実  スポーツ活動の充実  歴史・文化の保全・継承の取り組み	幼児教育の推進、幼保連携型総合施設の整備 教育施設・設備及び教育環境づくり 家庭教育の支援と青少年の健全育成の推進 多様な生涯学習機会の提供、文化・教育施設の充実・魅力向上 既存スポーツ施設の整備・機能強化による地域活性化、地域内外交流や健康長寿促進、スポーツ活動の充実 村内文化財の調査研究の蓄積、保存継承のための保存整備、伝統芸能を全世代で担っていく環境づくりの推進
豊かな自然を愛する持続可能なしまづくり	自然環境の保全 環境対策の推進 墓地対策  自然エネルギーの活用	自然環境の適正維持管理等 ごみ処理対策、循環型社会の形成の促進、赤土流出防止 墓地や火葬場の課題解決に向けた村民や関係機関との協働 自然エネルギーを活用した環境負荷の少ない新エネルギー計画導入検討等
いきいきと暮らし、ともに支え合うしまづくり	高齢者福祉の充実 体の不自由な方々への福祉の充実 出産・子育て支援の充実 保健・医療の充実  保険・年金の充実	高齢者へ配慮した公共施設のバリアフリー化等 公的施設のバリアフリー化の拡充等 移住・定住を促進するための環境整備や支援等 医療・福祉の充実、連携、安心安全な医療機械の提供、生涯スポーツと連携した村民の健康づくり 国民年金に係る相談体制の充実等
一人ひとりが備える、安全・安心で強靱なしまづくり	消防・救急体制の整備 防災・防犯・危機管理体制の強化	消防・救急体制の強化、消防団の充実等 防犯や交通安全の確保等
みんなが明るく、快適な暮らしを支えるしまづくり	道路交通の整備  海上交通の整備 上下水道の整備 情報通信の整備 公園・広場の整備 土地利用計画の策定	村民生活の向上、架橋建設に向けた島内交通ネットワークの形成等 生活航路、船舶運航事業の経営安定化への取り組み等 運営基盤と経営基盤の強化、環境衛生の向上等 通信網の適切な維持管理、ICTの利活用促進 村民意向を反映した整備・維持管理 新しい国土利用計画を策定し、効果的・効率的な土地利用の推進
未来にはばたく、魅力ある産業のしまづくり	農業振興 畜産業振興 水産業振興  商工業振興  観光業振興	生産基盤、農村環境整備等 生産基盤、生産性向上や経営の安定化 養殖の生産体制の強化、漁場の保全活動、観光漁業、伝統漁法の継承等 小規模零細企業の育成と支援、雇用創出、特産品開発推進、U・I・Jターン環境づくり等 情報発信、観光ブランド化を目指した体制づくり等
島の魅力を効率的に世界に発信し、ともに支え合うしまづくり	地域コミュニティの充実 交流の促進  協働のしまづくりの推進 効率的な行政運営	移住・定住人口の増加への取り組み等 観光やイベント、スポーツ合宿等とおして交流できる環境・体制づくり等 多様性尊重、相談・支援体制強化、女性参画推進等 良質な行政サービスの提供、村負担抑制等

### 【第5次伊是名村総合計画 第2期伊是名村総合戦略 2022(令和4)年3月 基本方針】

- 豊かな自然環境を生かした魅力ある観光地の形成、多様なニーズに対応した観光振興の促進

- 伊是名村の観光を発信し、観光ブランド化を目指した体制づくり、地域連携

【第5次伊是名村総合計画 第2期伊是名村総合戦略 2022(令和4)年3月 取り組み・施策】

- 魅力的な環境づくり
- 地域資源を活かした誘客活動
- いぜな島観光協会との連携
- 観光案内板や案内標識の設置
- 新たな体験・観光メニューの開発
- いぜな島農泊推進協議会への支援強化
- 観光情報サイトの開設

【第5次伊是名村総合計画 第2期伊是名村総合戦略 2022(令和4)年3月 指標・目標】

※観光関連目標から抜粋

施策	指標(KPI)	基準値	目標値(2026年度)
スポーツ活動の充実	一日あたりの施設利用人数(臨海ふれあい公園)	800人	2400人
	イベント等に参加した交流人口	1,536人	1,843人
自然環境の保全	景観形成団体への支援数	5	5
海上交通の整備	港湾施設整備数	0	1
	各イベント等の開催数	0/年・回	4/年・回
情報通信の整備	先進技術を活用した事業件数	0	2
	情報提供媒体の数	3	5
水産業の振興	担い手育成の支援・補助	1	1
	離島体験学習・民泊等の体験件数	0	1
	開発や販売強化の支援・補助件数	0	1
商工業振興	特産品の新たな販売ルート	0	1
	雇用人数	0	25
観光業の振興	案内標識の設置・修繕件数	0	25
	体験観光メニューの新規創出件数	0	2
地域コミュニティの充実	移住定住促進のための住宅整備数	9	15
交流の促進	民泊受入事業者数	52戸	52戸

【第5次伊是名村総合計画 第2期伊是名村総合戦略 2022(令和4)年3月 課題・広域連携について】

※観光振興計画等がないため総合計画より下記を抜粋した。

- 観光資源の活用: 景観形成、展望台の整備、特産品開発等
- 観光振興の充実: 民泊事業や観光情報の発信・メディア調整、民泊事業や村負担以外の収入源づくり。観光案内板や標識等の整備
- 滞在・体験型観光地の形成: マリン体験、農業体験学習、観光メニューの形成、インバウンド対応、スポーツ合宿、観光協会や商工会等との協議と情報サイトの開設

※広域連携について特に記載なし

## 2. 行政・観光協会・観光関連事業者向けヒアリング調査

### (1) ヒアリング調査議事概要

- ・ 下表のとおり、47 団体及び組織へヒアリングを行なった。
- ・ 次頁よりヒアリング概要を整理した。

※各市町村自治体及び観光協会(下表 No.8～29)については本編に記載

表：2-14 ヒアリング先一覧 47 団体

No.	ヒアリング先	No.	ヒアリング先(民間)
1	内閣府 沖縄総合事務局 運輸部 観光課	1	(一財)沖縄観光コンベンションビューロー
2	内閣府 沖縄総合事務局 北部国道事務所 調査課	2	(一財)沖縄美ら島財団
3	沖縄県文化観光スポーツ部 観光政策課	3	北部広域ネットワーク (北部広域市町村圏事務組合 北部振興対策室・広域連携課)
4	沖縄県文化観光スポーツ部 観光振興課/MICE 推進課	4	やんばるインバウンド・クルーズ推進部会 (北部振興会)
5	名護市企画部まちなか再開発・公共交通プロジェクトチーム	5	(一社)名護市スマートシティ協議会
6	名護市地域経済部観光課	6	(一社)沖縄県バス協会
7	// 観光協会	7	恩納村観光施設 GM 会
8	国頭村商工観光課	8	株式会社前田産業
9	// 観光協会	9	やんばる3村観光協議会
10	大宜味村企画観光課	10	(一財)沖縄 IT イノベーション戦略センター(ISCO)
11	// 観光協会	11	(一社)恩納村マリンレジャー協会
12	東村企画観光課	12	株式会社ジャパンエンターテイメント
13	// 観光推進協議会	13	東京バス株式会社 沖縄営業所
14	今帰仁村経済課	14	合同会社やんばる急行バス
15	// 観光協会	15	第一交通産業グループ 株式会社琉球バス交通 観光部
16	本部町企画商工観光課	16	株式会社丸金交通
17	// 観光協会	17	公立大学法人名桜大学
18	金武町商工観光課	18	国立沖縄工業高等専門学校
19	// 観光協会		
20	宜野座村商工観光課		
21	// 観光協会		
22	恩納村商工観光課		
23	// 観光協会		
24	伊江村商工観光課		
25	伊江島観光協会		
26	伊平屋村観光交通課		
27	伊平屋島観光協会		
28	伊是名村商工観光課		
29	いげな島観光協会		

現在ヒアリング内容最終確認中



現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中



現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中

現在ヒアリング内容最終確認中